(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B1)　(11)特許番号
特許第6712000号
(P6712000)
(45)発行日　令和2年6月17日(2020.6.17)　(24)登録日　令和2年6月2日(2020.6.2)

(51)Int.Cl.　F I
G06Q 10/10 (2012.01)　G06Q 10/10 322
G06F 3/0484 (2013.01)　G06F 3/0484

請求項の数 19　(全 45 頁)

(21)出願番号　特願2019-171069(P2019-171069)
(22)出願日　令和1年9月20日(2019.9.20)
審査請求日　令和1年9月25日(2019.9.25)
(31)優先権主張番号　特願2019-159509(P2019-159509)
(32)優先日　令和1年9月2日(2019.9.2)
(33)優先権主張国・地域又は機関
日本国(JP)

早期審査対象出願

(73)特許権者　519073313
Ｆａｍｚ株式会社
東京都品川区西五反田八丁目２番１０－６０７号
(74)代理人　100171206
弁理士　小林　茂
(72)発明者　前　尚志
東京都品川区西五反田八丁目２－１０五反田グリーンハイツ６０７号　Ｆａｍｚ株式会社内

審査官　鈴木　和樹

最終頁に続く

(54)【発明の名称】求人支援方法、求人支援装置、求人支援プログラムおよび記録媒体

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示媒体を有する表示装置と通信ネットワークによって接続された求人支援サーバを備える求人支援システムにおける求人支援方法であって、
記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、
前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、
求人支援方法。
【請求項２】
前記複数の求人票フォーマットのそれぞれは、前記掲載優先順位が第１位に設定された第１カテゴリの前記求人票における占有面積率は、前記第１カテゴリ以外の各カテゴリの前記求人票における占有面積率以上である、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項３】
前記一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、前記複数の求人票フォーマットのそれぞれを示す複数の画像が所定の順序で並べられた情報を含み、
前記表示媒体において、前記掲載優先順位において最下位に設定されたカテゴリを含ま

ない求人票フォーマットが、前記最下位に設定されたカテゴリを含む求人票フォーマットよりも上位に表示される、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項４】
前記一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、前記複数の求人票フォーマットのそれぞれを示す複数の画像が所定の順序で並べられた情報を含み、
前記表示媒体において、前記掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリが前記求人票の第１面積率を占有する求人票フォーマットは、前記第１カテゴリが前記求人票の前記第１面積率以下である第２面積率を占有する求人票フォーマットよりも上位に表示される、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項５】
前記表示媒体において、前記複数のカテゴリのそれぞれを選択可能な第１ボタンが前記カテゴリごとに対応して表示されている場合において、
前記第１ボタンを用いた選択が検知されたとき、前記設定された掲載優先順位に対応し、さらに、前記第１ボタンを用いた選択がされた一又は複数のカテゴリのみを掲載する求人票フォーマットを含む複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項６】
前記表示媒体において、前記複数の記載項目のそれぞれを前記求人票に含ませるか否かを選択可能な第２ボタンが前記記載項目ごとに対応して表示されている場合において、
前記第２ボタンを用いた選択が検知されたとき、前記設定された掲載優先順位に対応し、さらに、前記求人票に含ませる選択がされた記載項目の数に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項７】
前記第２ボタンを用いた選択がされたことによって、前記掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目の数が所定の閾値以下であることが検知されたとき、前記第１カテゴリに分類される記載項目の数を増やすことを促すメッセージを前記表示媒体に表示させる、
請求項６に記載の求人支援方法。
【請求項８】
前記表示媒体において、前記表示装置が備える入力部を用いて前記複数の記載項目のそれぞれに文字情報を入力できる領域が表示されている場合において、
前記文字情報が入力されたことが検知されたとき、前記設定された掲載優先順位に対応し、さらに、前記入力された文字情報の文字数、内容、または記載形式に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項９】
前記掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目に入力された文字情報の文字数が所定の閾値以下であることが検知されたとき、前記第１カテゴリに分類される記載項目の文字数を増やすことを促すメッセージを前記表示媒体に表示させる、
請求項８に記載の求人支援方法。
【請求項１０】
前記表示装置が備える入力部を用いて前記求人票に任意の画像データを掲載させる選択ができる場合において、
複数の画像データを掲載する選択がされたことが検知されたとき、前記設定された掲載

優先順位に対応し、さらに、前記画像データの数に基づいて抽出された複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項１１】
前記表示媒体において、前記表示装置が備える入力部を用いて、複数の出力媒体のうちから前記求人票を出力する一の出力媒体を選択可能な情報が表示されている場合において、
前記一の出力媒体が選択されたことが検知されたとき、前記設定された掲載優先順位に対応し、さらに、前記選択された一の出力媒体に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項１２】
前記表示媒体において、前記表示装置が備える入力部を用いて前記求人票の内容に関する複数のキーワードを設定可能な情報が表示されている場合において、
前記複数のキーワードが設定されたことが検知されたとき、前記設定されたキーワードを用いて複数の求人票サンプルから抽出された文字情報に基づいて文章を生成し、前記生成された文章を前記求人票の複数の記載項目のうち少なくとも１つの記載項目の内容として前記表示媒体に表示させる、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項１３】
前記複数の求人票サンプルは、任意の求人票データの特徴量に基づき学習モデルによって特定のグループに分類された求人票データを含み、
前記学習モデルは、前記求人支援システムを用いて生成された求人票データを教師データに含む機械学習によって生成されたモデルである、
請求項１２に記載の求人支援方法。
【請求項１４】
前記表示媒体において、任意の記載項目に対して複数の文章が表示され、前記入力部を用いて前記複数の文章から一の文章を選択可能な情報が表示される場合において、
前記一の文章が選択されたことが検知されたとき、選択された文章を前記任意の記載項目の内容とする求人票を前記表示媒体に表示させる、
請求項１２に記載の求人支援方法。
【請求項１５】
前記表示媒体において、前記表示装置が備える入力部を用いて、前記複数の記載項目のそれぞれに文字情報を入力又は編集できる領域、並びに、前記入力部を用いて、前記複数の記載項目のうち第１集合にまとめて第１宛先を対応付けることができ、前記複数の記載項目のうち前記第１集合とは異なる第２集合にまとめて第２宛先を対応付けることができる領域が表示されている場合において、
前記複数の記載項目ごとに、前記文字情報を最後に入力又は編集したタイミングから所定期間が経過したことが検知されたとき、前記検知された記載項目が前記第１集合に含まれるときは、前記第１宛先に所定メッセージを送信し、前記検知された記載項目が前記第２集合に含まれるときは、前記第２宛先に前記所定メッセージを送信する、
請求項１に記載の求人支援方法。
【請求項１６】
前記第１集合は、前記複数の記載項目のうち、前記求人票の応募者が配属される予定である部門の職務または職能に関する項目の集合であり、前記第２集合は、前記複数の記載項目のうち、人事に関する項目の集合である、
請求項１５に記載の求人支援方法。
【請求項１７】
表示媒体を有する表示装置と通信する通信部と、
記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を

分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる制御部と、
を備える求人支援装置。
【請求項１８】
表示媒体を有する表示装置と通信する通信処理と、
記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる制御処理と、
をコンピュータに実行させる求人支援プログラム。
【請求項１９】
表示媒体を有する表示装置と通信する通信処理と、
記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる制御処理と、
をコンピュータに実行させる求人支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、求人支援方法、求人支援装置、求人支援プログラムおよび記録媒体に関する。
【背景技術】
【０００２】
企業などの求人者が効果的な求人活動を行うための方法および装置が開発されている。例えば、ネットワークを介してアクセスを受けた求職者の情報端末に対し、求人情報を提供する求人情報提供システムであって、求人者の名称を含む基本情報を表示する基本情報表示部分と、求人者が希望する求人に関する求人情報を表示する求人情報表示部分と、求人者が作成したブログのタイトルを表示するタイトル表示部分と、基本情報や求人情報に関する動画情報を閲覧可能な動画情報部分をＷｅｂページ上で一画面にレイアウトさせた状態で表示させる求人情報提供システムがある。（例えば、特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２００７－１０９０９０号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかし、上述した特許文献１の技術（以下、従来技術）は、Ｗｅｂページ上でレイアウトされた求人票の記載項目の並び方に基準がないため、求人者が求人において重視してい

ることを一見して把握することが困難である。
【０００５】
本発明の目的は、求人者が求人において重視していることを表す求人票をＷｅｂページ上において容易に作成することに寄与する求人支援方法、求人支援装置、求人支援プログラムおよび記録媒体を提供することである。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明の一態様に係る求人支援方法は、表示媒体を有する表示装置と通信ネットワークによって接続された求人支援サーバを備える求人支援システムにおける求人支援方法であって、記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる、を含むようにした。
【０００７】
本発明の一態様に係る求人支援装置は、表示媒体を有する表示装置と通信する通信部と、記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる制御部と、を備える構成を採る。
【０００８】
本発明の一態様に係る求人支援プログラムは、表示媒体を有する表示装置と通信する通信処理と、記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる制御処理と、をコンピュータに実行させるようにした。
【０００９】
本発明の一態様に係る記録媒体は、表示媒体を有する表示装置と通信する通信処理と、記憶装置が記憶する求人票において求人情報を内容とする項目である複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、前記表示媒体において、前記複数のカテゴリの前記求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、前記掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、前記記憶装置が記憶する全ての求人票フォーマットのうち前記設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を前記表示媒体に表示させる制御処理と、をコンピュータに実行させる求人支援プログラムを記録する。
【発明の効果】
【００１０】
本発明によれば、求人者が求人において重視していることを表す求人票をＷｅｂページ上において容易に作成することに寄与することができる。
【図面の簡単な説明】
【００１１】
【図１】本発明の実施形態１に係る求人支援システムおよび求人支援装置の機能的な構成の一例を示すブロック図
【図２】本発明の実施形態１に係る求人支援システムおよび求人支援装置の機能的な構成

の他の例を示すブロック図
【図３】本発明の実施形態１に係る求人支援サーバが提供するサービスを説明するための表示媒体の表示画面の遷移図
【図４】本発明の実施形態１に係る求人支援サーバと表示装置との間の情報の送受信および情報処理の手順の一例を示すシーケンス図
【図５】本発明の実施形態１に係る掲載優先順位と求人票フォーマットのＩＤとを対応付ける第１テーブル情報の一例を示す図
【図６】表示媒体において設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報の一例を示す図
【図７】表示媒体においてプレビューされた求人票を示す画像の表示の一例を示す図
【図８】本発明の実施形態１に係る求人支援サーバ等の動作の流れの一例を示すフロー図
【図９】本発明の実施形態１に係る求人支援サーバの動作の流れの他の例を示すフロー図
【図１０】表示媒体において複数のカテゴリのそれぞれを選択可能な第１ボタンおよび選択されたカテゴリに対応する求人票フォーマットを示す画像の表示の一例を示す図
【図１１】変形例１における求人支援サーバと表示装置との間の情報の送受信および情報の処理の手順の一例を示すシーケンス図
【図１２】変形例１における求人支援サーバ等の動作の流れの一例を示すフロー図
【図１３】変形例１における求人支援サーバ等の動作の流れの他の例を示すフロー図
【図１４】表示媒体において複数の記載項目のそれぞれを求人票に含ませるか否かを選択可能な第２ボタンの表示の一例を示す図
【図１５】変形例２における求人支援サーバと表示装置との間の情報の送受信および情報の処理の手順の一例を示すシーケンス図
【図１６】変形例２における求人支援サーバ等の動作の流れの一例を示すフロー図
【図１７】変形例３における求人支援サーバと表示装置との間の情報の送受信および情報の処理の手順の他の例を示すシーケンス図
【図１８】変形例３における求人支援サーバ等の動作の流れの他の例を示すフロー図
【図１９】求人票の内容に関するキーワードを設定可能な情報の表示の一例を示す図
【図２０】変形例５における求人支援サーバ１０の動作の流れの一例を示す図
【図２１】表示媒体において求人票の記載項目の集合にまとめて宛先を対応させる表示の一例を示す図
【図２２】各部の機能をプログラムにより実現するコンピュータのハードウェア構成の一例を示す図
【発明を実施するための形態】
【００１２】
（本発明に係る一態様を発明するに至った経緯）
【００１３】
従来技術は、求人者の基本情報、求人情報、ブログのタイトル、並びに、基本情報および求人情報に関する動画情報をＷｅｂページ上で一画面にレイアウトして表示することで、求職者の注目度を高めることができる。しかし、従来技術を用いて求人票が作成された場合、求人票の記載項目の並び方に基準はなく、求人者が求人において重視していることを一見して把握することが困難である。求人者が重視していることとは、求人者が求職者に訴求したい事柄である。
【００１４】
係る場合においては、当該求人票を閲覧した求職者は、求人案件の特徴を自ら特定する必要がある。そのため、求人者と求職者との間に、求人に関する認識齟齬が生じる可能性がある。この認識齟齬は、例えば、求人者である企業が重視している理念が、求職者に適切に伝わらない場合、または、求人者である企業が訴求したい担当ミッションの重要性が、求職者に適切に伝わらない場合などに生じる。当該認識齟齬は、求人者と求職者とのマッチングに支障をきたし、従業員の自発的な退職の原因になりうる。一方、求人者が求人票を作成する場合、求人案件ごとに求人票のレイアウトを効果的に決定することは困難で

あった。求人票の記載項目の並び順に関し、マッチングに有効な基準がないからである。
【００１５】
本発明の発明者は、記載項目の並び順に関して所定の基準が設けられた場合であっても、相互に関連する記載項目の掲載位置が離れているときには、求人者が求人において重視していることが、求職者に適切に伝わらないことを見出した。さらに、本発明の発明者は、Ｗｅｂサイト上で求人者が求人票を作成する場合、Ｗｅｂページ上で記載項目ごとに並び順を逐一検討することは、求人者にとって煩雑であることを見出した。
【００１６】
そこで、本発明の発明者は、求人票の記載項目を複数のカテゴリにあらかじめ分類し、複数のカテゴリのうち何れのカテゴリを求職者に訴求したいかをＷｅｂページ上において選択することで、求人者が求人において重視していることを表す求人票を容易に作成できる求人支援装置および求人支援方法を想起し、本発明に係る一態様を発明するに至った。
【００１７】
なお、本開示においては、以下のように用語が定義される。
【００１８】
（本サービス）
本開示における求人支援サーバが提供する求人支援サービスを本サービスという。以下の説明において、本開示における求人支援サーバが提供する求人支援サービスは、本サービスと言い換えてもよい。
【００１９】
（ユーザー）
本サービスの利用者をユーザーという。具体的には、ユーザーとは、本サービスに係るＷｅｂサイトへアクセスし、当該サイト上において所定のサービスの提供を受ける者である。所定のサービスとは、例えば、求人票の記載項目を分類する複数のカテゴリの求人票への掲載優先順位を設定することによって求人票データの提供を受けるサービスである。ユーザーは、例えば、企業などの求人者であってもよい。
【００２０】
（求人票）
求職者の応募のために、求人者が求人情報を掲載するドキュメントを求人票という。本開示において、求人票は、本サービスに係るＷｅｂサイトにアクセスしたユーザーがＷｅｂブラウザ等において閲覧できる情報であってもよい。また、求人票は、Ｗｅｂブラウザ等においてユーザーが閲覧した情報をプリンタによって印刷した物であってもよい。
【００２１】
（記載項目）
求人票に含まれる求人情報の各項目を記載項目という。求人票の記載項目は、本サービスの提供者によって予め設定されてもよい。求人票の記載項目には、職業安定法などの法律によって掲載が義務付けられている法定項目と、求人者が任意に掲載できる任意項目とが含まれる。法定項目とは、例えば、募集者の氏名または名称、業務内容、就業場所、就業時間などである。また、任意項目とは、例えば、企業の理念、従業員の男女比、エンジニア比率、担当プロダクト、制服着用義務の有無などである。
【００２２】
以上、本開示における用語の定義について説明した。定義された用語について、特別な意味が付される場合には、実施形態の説明において、さらに定義がなされる場合がある。
【００２３】
以下、本発明の実施形態について、図面を参照して詳細に説明する。実施形態において、同一機能を有する構成には同一符号を付し、重複する説明は省略する。以下に説明される実施形態は本開示の一具体例を示す。実施形態において示される構成、フロー図における処理または処理の順序などは一例であって、本開示の技術を限定しない。
【００２４】
（実施形態１）

本実施形態に係る求人支援システム１および求人支援装置１００の構成について、図１および図２を参照して説明する。図１は、本発明の実施形態１に係る求人支援システム１および求人支援装置１００の機能的な構成の一例を示すブロック図である。図２は、本発明の実施形態１に係る求人支援システム１および求人支援装置１００の機能的な構成の他の例を示すブロック図である。

【００２５】

図１において、求人支援システム１は、求人支援装置１００、表示装置２００、および記憶装置３００を備える。図１において、求人支援装置１００は求人支援サーバ１０とも呼称される。また、記憶装置３００は記憶サーバ３００と呼称されてもよい。

【００２６】

求人支援装置１００は、通信部１０１および制御部１０２を備える。通信部１０１および制御部１０２は、互いに有線または無線によって接続される。表示装置２００は、表示媒体２０１、入力部２０２、通信部２０３、メモリ２０４、および制御部２０５を備える。表示装置２００に含まれる各要素は、設計仕様に基づき、他の要素の一部または全部と有線または無線によって接続される。

【００２７】

図１においては、求人支援装置１００を求人支援サーバ１０としているが、図２に示す求人支援システム１の構成例のように、求人支援装置１００および記憶装置３００を含む構成を求人支援サーバ１０と呼称してもよい。

【００２８】

なお、求人支援サーバ１０は、例えば、通信ネットワークを介して、後述する複数のカテゴリおよび複数の求人票フォーマットを表示媒体２０１に表示させるために必要な情報を表示装置２００に提供し、当該情報に基づくサービスを提供する機能を有するコンピュータまたは記録媒体である。求人支援サーバ１０は、例えば、汎用コンピュータ、および、本実施形態において説明される各動作等を実施させるソフトウェアの組み合わせによって実現される。

【００２９】

なお、図１に示す求人支援サーバ１０および記憶装置３００、ならびに、図２に示す求人支援サーバ１０のそれぞれは複数あってもよく、それぞれに機能を分散させてもよい。

【００３０】

以下の説明において、求人支援サーバ１０と呼称する場合、図１に示すシステム構成の場合も、図２に示すシステム構成の場合も含むものとする。すなわち、求人支援サーバ１０に記憶装置３００が含まれるか否かは、本発明を限定しない。また、求人支援サーバ１０は、図１に示すシステムにおいては、求人支援装置１００と読み替えることができる。

【００３１】

図１および図２において、求人支援装置１００における通信部１０１は、表示装置２００における通信部２０３と通信ネットワークによって接続され、情報を送受信する機能を有する。通信ネットワークは、電気通信回線によって構成されるネットワークを意味する。通信ネットワークは、有線通信ネットワークであっても、無線通信ネットワークであってもよい。通信ネットワークは、例えば、インターネット、専用回線、ＬＡＮ（Ｌｏｃａｌ　Ａｒｅａ　Ｎｅｔｗｏｒｋ）などを含む。

【００３２】

表示装置２００は、例えば、求人票の記載項目を分類する複数のカテゴリ、および、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットなどの情報を表示媒体２０１に表示させる機能を有する情報機器である。表示装置２００は、例えば、スマートフォン、タブレット端末、ノートパソコン、デスクトップパソコン、専用端末等である。

【００３３】

表示媒体２０１は、例えば、２次元ディスプレイでもよく、バーチャルリアリティー、ミックスドリアリティーなどにおける３次元ディスプレイであってもよい。２次元ディスプレイは、液晶ディスプレイ、有機ＥＬディスプレイ等であってもよく、ディスプレイの

種類は本発明を限定しない。表示媒体２０１は、表示装置２００の外付けディスプレイであってもよい。

【００３４】

入力部２０２は、表示媒体２０１における表示内容を選択する機能、および、文字を入力または編集する機能を有する。入力部２０２は、ユーザーによる入力を受け付ける。

【００３５】

具体的には、入力部２０２は、例えば、キーボード、マウス、ハードウェアボタン、タッチパネルを用いたタッチ操作、タッチパネルを用いたスタイラスペン、ユーザーの視線検知に基づく入力、および音声入力などのうち少なくとも１つであってもよい。キーボードは、外部接続された物理的キーボードであってもよく、タッチパネル上のソフトウェアキーボードであってもよい。また、表示媒体２０１がバーチャルリアリティー、ミックスドリアリティーなどにおける３次元ディスプレイの場合には、専用コントローラー、ユーザーのジェスチャーなどに基づく情報入力または情報選択であってもよい。

【００３６】

通信部２０３は、通信部１０１と通信ネットワークによって接続され、求人支援サーバ１０から信号または情報を受け取る。通信部２０３が通信部１０１から受け取る信号または情報は、記載項目を分類する複数のカテゴリの情報、および求人票フォーマットの情報を含む。通信部２０３は、例えば、無線通信のためのアンテナを含む通信モジュールでもよく、有線通信のための通信モジュールでもよい。

【００３７】

メモリ２０４は、通信部２０３が求人支援サーバ１０から受け取った情報を保存してもよい。メモリ２０４は、通信部２０３が後述する各種アプリケーションソフトウェアを受け取った場合には、各種アプリケーションソフトウェアを保存してもよい。

【００３８】

制御部２０５は、表示装置２００における各種制御を行う。制御部２０５は、例えば、通信部２０３が求人支援サーバ１０から情報を受け取る機能を制御し、受け取った情報をメモリ２０４に保存させ、ユーザーによる入力を入力部２０２に受け取らせる。また、制御部２０５は、例えば、複数のカテゴリの情報および求人票フォーマットの情報、ならびに、各種アプリケーションまたは求人支援装置１００からの指示に基づいて、表示媒体２０１に所定の情報を表示させる。

【００３９】

なお、制御部２０５が複数のカテゴリおよび求人票フォーマットなどの情報を表示媒体２０１に表示させる技術は公知であるため、詳細な説明は省略する。

【００４０】

制御部２０５は、電気信号によって各部を制御する制御回路（ｃｏｎｔｒｏｌ　ｃｉｒｃｕｉｔｒｙ）であってもよい。具体的には、制御部２０５は、例えば、ＦＰＧＡ（Ｆｉｅｌｄ　Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ　Ｇａｔｅ　Ａｒｒａｙ）等の集積回路によって構成されてもよい。また、制御部２０５は、例えば、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）またはＭＰＵ（Ｍｉｃｒｏ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）などにより実現されてもよい。制御部２０５は、例えば、Ｗｅｂブラウザであってもよい。

【００４１】

記憶装置３００は、例えば、求人票の記載項目の情報、複数のカテゴリの情報、および求人票フォーマットの情報等を記憶する。記憶装置３００は、各種アプリケーションソフトウェアを記憶してもよい。各種アプリケーションソフトウェアは、例えば、求人支援サーバ１０が提供するサービスを、ユーザーの要求に応じて、表示装置２００においてスタンドアロンで実行させるものであってもよい。また、各種アプリケーションソフトウェアは、例えば、クライアントＰＣにインストールされたＷｅｂブラウザに読み込んで動作させるＨＴＭＬ、ＣＳＳ、ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ（登録商標）等のソースコードであってもよい。

【００４２】

求人支援装置１００は、通信部１０１および制御部１０２を備える。通信部１０１は、表示装置２００における通信部２０３と通信する。通信部１０１は、記憶装置３００から情報を受け取る機能を有する。求人支援装置１００と記憶装置３００との間の通信は、有線または無線を問わない。

【００４３】

通信部１０１は、例えば、無線通信のためのアンテナを含む通信モジュールであってもよく、有線通信のための通信モジュールであってもよい。

【００４４】

制御部１０２は、記憶装置３００が記憶する複数のカテゴリの情報を用いて、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示媒体２０１に表示させる。具体的には、制御部１０２は、表示装置２００を用いたユーザーからの要求に基づき、記憶装置３００が記憶する複数のカテゴリの情報を、通信部１０１を制御することにより、通信部２０３へ送信する。係る場合、制御部１０２は、通信部１０１を制御することにより、各種アプリケーションソフトウェアを通信部２０３へ送信してもよい。

【００４５】

また、制御部１０２は、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうち設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる。

【００４６】

制御部１０２は、電気信号によって各部を制御する制御回路（ｃｏｎｔｒｏｌ　ｃｉｒｃｕｉｔｒｙ）であってもよい。具体的には、制御部１０２は、例えば、ＦＰＧＡ（Ｆｉｅｌｄ　Ｐｒｏｇｒａｍｍａｂｌｅ　Ｇａｔｅ　Ａｒｒａｙ）などの集積回路によって構成されてもよい。また、制御部１０２は、例えば、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）またはＭＰＵ（Ｍｉｃｒｏ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）などにより実現されてもよい。制御部１０２の機能の詳細については、後述する。

【００４７】

図３は、本発明の実施形態に係る求人支援サーバ１０が提供するサービスを説明するための表示媒体２０１の表示画面の遷移図を示す。以下、図３を参照して、本発明の実施形態に係る求人支援サーバ１０が提供するサービスのうち、基本的なサービスの内容について説明する。

【００４８】

本サービスは、例えば、本サービスに係るＷｅｂサイトにユーザーがアクセスすることによって提供されてもよい。係る場合、本サービスは、図３の表示媒体２０１ａに示すように、Ｗｅｂブラウザ等において、複数のカテゴリ３０および複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報３１を表示させる。

【００４９】

本サービスにおいて、求人票の記載項目は、あらかじめ複数のカテゴリに分類される。具体的には、複数のカテゴリは、求人票に掲載される複数の記載項目のうち、相互に関連する項目ごとに分類する。

【００５０】

例えば、記載項目のうち、企業理念、企業思想、および事業目的などの求人側の想いに関する項目は、図３における第１カテゴリ３０ａに分類されてもよい。例えば、記載項目のうち、職種、求人の概要、求人の具体的な内容、および担当するプロダクトなど事業に関する項目は、図３における第２カテゴリ３０ｂに分類されてもよい。例えば、従業員の数、従業員の男女比、および求人部署の従業員紹介など人的環境に関する項目は、図３における第３カテゴリ３０ｃに分類されてもよい。例えば、就業場所、就業時間、休暇、休憩時間、ならびに時間外労働など条件および待遇に関する項目は、図３における第４カテゴリ３０ｄに分類されてもよい。

【００５１】

なお、上記において、カテゴリ３０は４つのカテゴリであるとして説明したが、カテゴリの数は複数あればよく、その数は本発明を限定しない。また、図３において、第１カテゴリ３０ａから第４カテゴリ３０ｄに付与された名称は例示であり、本発明を限定しない。カテゴリの名称および記載項目の分類の仕方は本発明を限定するものではなく、本サービスの提供者によって定められてもよい。

【００５２】

なお、表示媒体２０１ａに表示された複数のカテゴリ３０のそれぞれに対して、ユーザーが入力部２０２を用いてマウスオーバーをした場合、カテゴリ３０ａからカテゴリ３０ｄのそれぞれに分類される記載項目が表示媒体２０１ａに表示されてもよい。

【００５３】

複数のカテゴリ３０の求人票における掲載優先順位とは、求人票を作成するユーザーが、求人票において求職者に訴求したいカテゴリの順位である。すなわち、掲載優先順位とは、ユーザーが求人において重視しているカテゴリの順位である。掲載優先順位を設定可能な情報３１とは、複数のカテゴリ３０の掲載優先順位をユーザーが設定するための情報であり、例えば、図３に示すように各カテゴリ３０に一対一に対応して表示されるプルダウンメニューであってもよい。

【００５４】

なお、図３における掲載優先順位を設定可能な情報３１の表示態様は例示であり、本開示を限定しない。当該情報３１は、例えば、ユーザーが入力部２０２を用いて掲載優先順位を示す数字を入力可能な領域であってもよい。

【００５５】

なお、図３の説明においては、表示媒体２０１ａに複数のカテゴリ３０および掲載優先順位を設定可能な情報３１が表示される場合について説明したが、本発明の実施形態においては、表示媒体２０１ａにおいてカテゴリ３０の掲載優先順位を設定可能であればよい。例えば、表示媒体２０１ａにおいて複数のカテゴリ３０のみが表示され、ユーザーがタッチパネルを用いて表示媒体２０１ａに表示された複数のカテゴリ３０の並び順を変えることにより、複数のカテゴリ３０の掲載優先順位が設定可能であってもよい。係る場合、表示媒体２０１に表示される複数のカテゴリ３０は、掲載優先順位を設定可能な情報３１でもある。

【００５６】

そして、複数のカテゴリ３０の掲載優先順位が設定された場合、表示媒体２０１ｂに示すように、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットのうち一の求人票フォーマットを選択可能な情報３２が表示されてもよい。当該情報３２は、複数の求人票フォーマットのそれぞれを示す画像を含む。ユーザーは、当該情報３２に含まれる複数の求人票フォーマットのそれぞれを示す画像のうちから一の画像を入力部２０２によって選択することにより、一の求人票フォーマットを選択できてもよい。

【００５７】

なお、図３においては、複数のカテゴリ３０が表示媒体２０１ａに表示された後に、複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報３２を表示する画面にページ遷移するとして説明したが、この限りではない。すなわち、複数のカテゴリ３０と、複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報３２とが、同一のタイミングで、同一画面上に表示されてもよい。

【００５８】

係る場合、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの掲載優先順位が変更される度に、同一画面上に表示される複数の求人票フォーマットの種類が変更されてもよい。また、さらに、同一画面上に、複数の求人票フォーマットに分類される複数の記載項目が表示されてもよい。係る場合、複数のカテゴリの掲載優先順位が入力部２０２を用いて変更される場合、同一画面上に表示される複数の記載項目の並び順が、複数のカテゴリの掲載優先順位に応じて、変更されてもよい。

【００５９】

このように、本サービスにおいては、求人票の記載項目を分類する複数のカテゴリが表示媒体２０１に表示され、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位がユーザーによって設定されることにより、ユーザーが求人において重視していることを強調する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報が表示媒体２０１に表示される。これにより、ユーザーが求人において重視していることを表す求人票データの作成が容易になる。

【００６０】

なお、ユーザーが本サービスのＷｅｂサイトにアクセスした当初は、例えば、複数のカテゴリ３０のそれぞれについて掲載優先順位の初期値が定められていてもよい。係る場合、ユーザーが本サービスのＷｅｂサイトにアクセスした当初は、画像情報３２は、掲載優先順位の初期値に対応した情報であってもよい。

【００６１】

なお、上記の説明においては、表示媒体２０１において複数のカテゴリの掲載優先順位が設定された場合、複数の求人票フォーマットが表示媒体２０１においてレコメンドされると説明したが、一の求人票フォーマットがレコメンドされるとしてもよい。

【００６２】

なお、本サービスは、求人支援サーバ１０を用いて、表示媒体２０１において複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能な情報、および、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示させるものであればよく、サービスが提供される態様は本発明を限定しない。例えば、求人支援サーバ１０がＷｅｂブラウザを用いないスタンドアロンで動作するアプリケーションソフトウェアを表示装置２００に送信し、ダウンロードされた当該アプリケーションソフトウェアを用いて、表示媒体２０１上において各種サービスが提供されてもよい。

【００６３】

図４は、求人支援サーバ１０と表示装置２００との間の情報の送受信および情報処理の手順の一例を示すシーケンス図である。図５は、カテゴリの掲載優先順位と、レコメンドされる求人票フォーマットのＩＤとを対応付ける第１テーブル情報の一例を示す図である。図６は、表示媒体２０１において、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報の一例を示す図である。図７は、表示媒体２０１においてユーザーによって選択された求人票の一例を示す図である。

【００６４】

なお、図５においては、複数のカテゴリの数が４つである例について第１テーブル情報が示されている。例えば、掲載優先順位（１、２、３、４）は、カテゴリ１の掲載優先順位が第１位であり、カテゴリ２の掲載優先順位が第２位であり、カテゴリ３の掲載優先順位が第３位であり、カテゴリ４の掲載優先順位が第４位であることを示す。図５における第１テーブル情報は一例であり、カテゴリの数、設定された掲載優先順位とレコメンドされる求人票フォーマットとを対応付ける方法は、本発明を限定しない。

【００６５】

以下、図４から図７を参照して、求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明する。

【００６６】

なお、以下の説明において、求人支援サーバ１０から表示装置２００に対して送信された後にメモリ２０４に保存された各種プログラムによって、表示媒体２０１において、所定の文字情報または画像情報の表示が制御されることは、求人支援サーバ１０が直接的または間接的に所定の文字情報または画像情報の表示を制御していることと等価である。

【００６７】

すなわち、本発明の実施形態においては、求人支援サーバ１０から表示装置２００へ提供された各種プログラムによる制御、および、求人支援サーバ１０による制御を、求人支援サーバ１０等による制御と呼称してもよい。単に、求人支援サーバ１０による制御と呼称される場合であっても、求人支援サーバ１０等による制御と同じ意味に解釈してもよい

。
【００６８】
図４に示すように、ユーザーが本サービスの提供を受けるために、入力部２０２を用いて、複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能な情報を送信するように、求人支援サーバ１０に要求する（ステップＳ４０１）。当該要求は、例えば、本サービスのユーザーが、本サービスに係るＷｅｂサイト上の所定のページを表示する表示媒体２０１上において、求人票フォーマットを設定するためのボタンを押下するものであってもよい。
【００６９】
次に、表示装置２００からの要求を受けた求人支援サーバ１０は、掲載優先順位を設定可能な情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ４０２）。係る場合に、表示装置２００は、求人支援サーバ１０から受信した当該情報をメモリ２０４に保存してもよい。なお、以下の説明において、表示装置２００は求人支援サーバ１０から受け取った各情報をメモリ２０４に保存してもよい。
【００７０】
掲載優先順位を設定可能な情報は、記憶装置３００に記憶されていてもよい。図１に示すシステム態様の場合には、求人支援サーバ１０が記憶装置３００から当該情報を受け取って表示装置２００へ送信してもよい。図２に示すシステム態様の場合には、求人支援サーバ１０がサーバ内部に記憶される当該情報を表示装置２００へ送信してもよい。
【００７１】
なお、求人支援サーバ１０は、ステップＳ４０２において、掲載優先順位を設定可能な情報と併せて、複数カテゴリの掲載優先順位の初期値、および、当該初期値に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像情報を表示装置２００へ送信してもよい。
【００７２】
これにより、図３に示す複数のカテゴリ３０および複数の求人票フォーマットを示す画像情報３２が表示媒体２０１の一ページ上に併せて表示される場合には、ユーザーは、本サービスの開始時点から、レコメンドされる複数の求人票フォーマットを閲覧できる。
【００７３】
次に、表示装置２００は、求人支援サーバ１０から受け取った優先順位を設定可能な情報に基づき、複数のカテゴリ、および、掲載優先順位を設定可能な情報を表示媒体２０１に表示する（ステップＳ４０３）。
【００７４】
なお、ステップＳ４０２において、求人支援サーバ１０が掲載優先順位の初期値の情報および当該初期値に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像情報を表示装置２００へ送信した場合には、ステップＳ４０３において、表示装置２００は少なくとも掲載優先順位の初期値を表示媒体２０１に表示させてもよい。
【００７５】
次に、表示装置２００は、表示媒体２０１において、入力部２０２を用いて掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、検知結果に対応した掲載優先順位を表示媒体２０１に表示する（ステップＳ４０４）。さらに、表示装置２００は、設定された掲載優先順位の情報を求人支援サーバ１０へ送信する（ステップＳ４０５）。
【００７６】
係る場合において、表示装置２００は、表示媒体２０１において掲載優先順位が設定されたことが検知されたことをトリガーにして、設定された掲載優先順位の情報を求人支援サーバ１０へ送信してもよい。また、表示装置２００は、表示媒体２０１に表示された図示しない所定ボタンが入力部２０２を用いた操作によって押下されたことをトリガーにして、設定された掲載優先順位の情報を求人支援サーバ１０へ送信してもよい。設定された掲載優先順位の情報が送信されるタイミングは、本発明を限定しない。
【００７７】
次に、求人支援サーバ１０は、受信した掲載優先順位の情報に基づき、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうちから、設定された掲載優先順位の情報に対応

する複数の求人票フォーマットを抽出する（ステップＳ４０６）。具体的には、図５に示す第１テーブルの情報に基づき、設定された掲載優先順位に対応するフォーマットＩＤを抽出する。図５に示す第１テーブルの情報は記憶装置３００に記憶されていてもよい。

【００７８】

次に、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する複数の求人票フォーマットの情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ４０７）。具体的には、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する複数の求人票フォーマットを示す画像情報を、求人票フォーマットのプレビュー用途として、表示装置２００へ送信してもよい。当該画像情報は、表示媒体２０１において、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示するために用いられる。なお、抽出されたＩＤに対応する求人票フォーマットは、設定された掲載優先順位に対応する求人票フォーマットを意味する。

【００７９】

次に、表示装置２００は、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示する（ステップＳ４０８）。

【００８０】

一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、例えば、図６に示すように、複数の求人票フォーマット６００のそれぞれを示す複数の画像が、当該複数の画像から一の画像を選択できるように並べられた情報６０６であってもよい。

【００８１】

具体的には、一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、図６に示すように、複数の求人票フォーマット６００のそれぞれを示す複数の画像のそれぞれに対応して表示されるチェックボックス６０５を含んでもよい。係る場合、入力部２０２を用いて任意のチェックボックスが選択されることにより、一の求人票フォーマットが選択されるようにしてもよい。

【００８２】

また、一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、複数の求人票フォーマット６００のそれぞれを示す複数の画像が並べられて表示されているだけであり、入力部２０２を用いて任意の求人票フォーマットを示す画像がタッチパネルまたはマウスなどで選択されることにより、一の求人票フォーマットが選択されるようにしてもよい。一の求人票フォーマットを選択する手段は、本発明を限定しない。

【００８３】

なお、以下の説明において、例えば、複数のカテゴリとして４つのカテゴリを例示し、第１カテゴリの掲載優先順位が第１位に、第２カテゴリの掲載優先順位が第２位に、第３カテゴリの掲載優先順位が第３位に、第４カテゴリの掲載優先順位が第４位に設定されたとして説明する。但し、図６における、カテゴリの数、種類、および掲載優先順位は例示である。例えば、第１カテゴリ６０１、第２カテゴリ６０２、および第３カテゴリ６０３を含み、第４カテゴリ６０４を含まない求人票フォーマットを示す画像が、一の求人票フォーマットを選択可能な情報６０６に含まれてもよい。

【００８４】

また、記載項目は、求人票において、当該記載項目が分類されるカテゴリに割り当てられる領域にまとめて掲載されてもよい。各カテゴリに割り当てられる領域における記載項目の掲載順序は任意であってもよく、本発明を限定しない。

【００８５】

図６に示すように、複数の求人票フォーマットを示す画像６００のそれぞれにおいて、掲載優先順位が第１位に設定された第１カテゴリは、他のカテゴリに比較して、優先的に掲載されてもよい。

【００８６】

例えば、第１カテゴリ６０１ａ～６０１ｅの求人票における占有面積率は、第１カテゴリ以外の各カテゴリ６０２～６０４の求人票における占有面積率より高くてもよい。例え

ば、第１カテゴリ６０１ｆの求人票における占有面積率は、第１カテゴリ以外の各カテゴリ６０２～６０４の求人票における占有面積率以上であってもよい。例えば、第１カテゴリ６０１ａ～６０１ｆの求人票における掲載位置は、第１カテゴリ以外の各カテゴリ６０２～６０４の求人票における掲載位置より上位であってもよい。

【００８７】

このように、掲載優先順位とは、求人票フォーマットにおける各カテゴリが掲載される位置の順位でなくてもよい。例えば、第１カテゴリ６０１の求人票における占有面積率が、他のカテゴリの占有面積率より高ければ、第１カテゴリ６０１の求人票における掲載位置が最上位である必要はなく、例えば、中央に配置されてもよい。一方で、例えば、第１カテゴリ６０１の求人票における占有面積率が、他のカテゴリの占有面積率と同じである場合には、第１カテゴリ６０１の求人票における掲載位置は最上位であってもよい。

【００８８】

なお、上記においては、第１カテゴリ６０１と掲載優先順位が下位のカテゴリとの関係について説明したが、第２カテゴリ６０２と掲載優先順位が下位のカテゴリとの関係において同様であってもよい。

【００８９】

これにより、ユーザーは、自ら設定した掲載優先順位に対応した複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択でき、求人において重視していることを表す求人票をＷｅｂページ上において容易に作成することができる。

【００９０】

また、図６に示すように、複数の求人票フォーマットを示す複数の画像６００は、表示媒体２０１において、所定の順序で並べられて表示されてもよい。

【００９１】

例えば、表示媒体２０１において、掲載優先順位において最下位に設定されたカテゴリを含まない求人票フォーマットが、最下位に設定されたカテゴリを含む求人票フォーマットよりも上位に表示されてもよい。

【００９２】

具体的には、図６において、求人票フォーマットを示す画像６００ａ～６００ｄは、第１カテゴリ６０１および第２カテゴリ６０２を含むが第４カテゴリ６０４を含まない。一方、求人票フォーマットを示す画像６００ｅ～６００ｆは、第１カテゴリ６０１および第２カテゴリ６０２の他に、第４カテゴリ６０４も含む。そして、第４カテゴリ６０４を含まない求人票フォーマットを示す画像６００ａ～６００ｄは、第４カテゴリ６０４を含む求人票フォーマットを示す画像６００ｅ～６００ｆより、Ｗｅｂページ上において上位に表示される。ページにおける上位とは、例えば、複数の段落構成のうち最上位の段落であって、最も左側の位置であってもよい。

【００９３】

これにより、ユーザーは、複数の求人票フォーマットをＷｅｂページ上において閲覧する場合に、求人者が求人において重視している記載項目がより強調されたフォーマットを上から順に閲覧できる。

【００９４】

また、例えば、表示媒体２０１において、掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリが求人票の第１面積率を占有する求人票フォーマットは、第１カテゴリが求人票の第１面積率以下である第２面積率を占有する求人票フォーマットよりも上位に表示されてもよい。

【００９５】

具体的には、図６に示すように、例えば、求人票フォーマットを示す画像６００ａにおいて、第１カテゴリ６０１ａが求人票において占める第１面積率は、求人票フォーマットを示す画像６００ｂにおいて、第１カテゴリ６０１ｂが求人票において占める第２面積率よりも高い。そして、第１カテゴリが求人票の第１面積率を占有する求人票フォーマット６００ａは、第１カテゴリが求人票の第２面積率を占有する求人票フォーマット６００ｂ

よりも上位に表示される。画像６００ｂと画像６００ｃ、画像６００ｃと画像６００ｄなどの関係についても同様である。

【００９６】

また、図６に示すように、例えば、求人票フォーマットを示す画像６００ｅにおける第１カテゴリ６０１ｅの第２面積率は、求人票フォーマットを示す画像６００ｄにおける第１カテゴリ６０１ｄの第１面積率以下である。そして、第１カテゴリが求人票の第１面積率を占有する求人票フォーマット６００ｄは、第１カテゴリが求人票の第２面積率を占有する求人票フォーマット６００ｅよりも上位に表示される。

【００９７】

このように、表示媒体２０１において、第１カテゴリが求人票の第１面積率を占有する求人票フォーマットが、第１カテゴリが求人票の第１面積率以下である第２面積率を占有する求人票フォーマットよりも上位に表示されることで、ユーザーは、複数の求人票フォーマットをＷｅｂページ上において閲覧する場合に、求人者が求人において重視している記載項目が、より強調されたフォーマットを上から順に閲覧できる。

【００９８】

なお、図６において、一の求人票フォーマットを選択可能な情報６０６は、グリッドビューであるとして説明したが、リストビューであってもよい。また、複数の求人票フォーマットを示す画像６００のそれぞれが、順に表示されるスライドビューであってもよい。情報６０６の表示態様は、本発明を限定しない。

【００９９】

さらに、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、例えば、入力部２０２を用いて複数のカテゴリの掲載優先順位が設定されたことに応じて複数の求人票フォーマットのうち所定の一の求人票フォーマットが表示媒体２０１に表示される場合において、ユーザーが入力部２０２を用いて、複数の求人票フォーマットのうち、当該一の求人票フォーマットとは別の求人票フォーマットを表示媒体２０１に表示させることが可能な情報であってもよい。

【０１００】

係る場合、複数の求人票フォーマットのうち、表示媒体２０１に表示される求人票フォーマットの順は、例えば、図６に示す一の求人票フォーマットを選択可能な情報６０６における上位から下位へ向かう順であってもよい。

【０１０１】

なお、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択可能な情報は、複数のカテゴリ３０および複数の記載項目と、同一のタイミングで、同一画面上に表示されてもよい。係る場合、複数の求人票フォーマットのうち所定の一の求人票フォーマットがプレビュー画像として表示媒体２０１に表示されてもよい。そして、ユーザーが、入力部２０２を用いて、複数の求人票フォーマットのうち、当該一の求人票フォーマットとは別の求人票フォーマットをプレビュー画像として表示媒体２０１に表示させることができてもよい。

【０１０２】

なお、本サイトに係るＷｅｂサイト上の各ページはスクロールすることができてもよい。例えば、図６において、図示しないスクロールバーまたはタッチパネルによる操作によって、さらに複数の求人票フォーマット６００が表示されるようにしてもよい。また、求人票フォーマットは１ページではなく複数ページから構成されてもよい。係る場合、各カテゴリの占有面積率は、複数ページの全ての面積に対する面積率として扱われてもよい。

【０１０３】

図４の説明に戻る。次に、表示装置２００は、表示媒体２０１において一の求人票フォーマットが入力部２０２を用いて選択されたことが検知されたとき、選択された一の求人票フォーマットを特定する情報を求人支援サーバ１０へ送信する（ステップＳ４１０）。一の求人票フォーマットを特定する情報は、記憶装置３００が記憶する第１テーブル５０１におけるＩＤの情報であってもよい。

【０１０４】
なお、一の求人票フォーマットの選択は、例えば、複数のチェックボックス６０５のうち一のチェックボックスの選択であってもよい。また、一の求人票フォーマットの選択は、例えば、タッチパネルを用いた一の求人票フォーマットを示す画像の選択であってもよい。表示媒体２０１において、複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットを選択する方法は、本発明を限定しない。
【０１０５】
次に、求人支援サーバ１０は、選択された一の求人票フォーマットを特定する情報に対応する求人票データを表示装置２００へ送信する（ステップＳ４１１）。係る場合、求人票データは、例えば、記憶装置３００に記憶されていてもよい。
【０１０６】
次に、求人票データを受信した表示装置２００は、制御部２０５を用いて、ユーザーが選択した求人票を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ４１２）。
【０１０７】
図７は、表示媒体２０１に表示された求人票の一例を示す図である。図７において、求人票７００は、例えば、第１カテゴリ６０１および第２カテゴリ６０２が掲載される。第１カテゴリ６０１には、第１カテゴリに分類される記載項目が掲載されている。第２カテゴリ６０２には、第２カテゴリに分類される記載項目が掲載されている。図７において、求人票７００は１ページ構成であるとして説明したが、求人票７００は複数ページ構成であってもよい。
【０１０８】
なお、ステップＳ４０７において、抽出された複数の求人票フォーマット６００を示す画像の情報がプレビュー用途として送信されると説明したが、当該プレビュー用途の画像情報と併せて、複数の求人票フォーマットのそれぞれの求人票データが送信されてもよい。係る場合、ステップＳ４１０およびステップＳ４１１の送受信を省略できる。
【０１０９】
なお、本サービスを表示装置２００において実行させるための各種プログラムは適宜、求人支援サーバ１０から表示装置２００へ送信される。本サービスを実行させるための各種プログラムが表示装置２００へ送信されるタイミングは本発明を限定しない。Ｗｅｂサイトの場合、サービスの提供開始時点において、基本機能を実現する各種プログラムの送信を完了してもよい。
【０１１０】
なお、図４は情報の送受信および情報処理の手順の一例である。例えば、図４において、ステップＳ４０４からステップＳ４０８は、ユーザーからの要求に応じて複数回繰り返されてもよい。
【０１１１】
以上、図４から図７を参照して、求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明した。
【０１１２】
図８は、実施形態１に係る求人支援サーバ１０の動作の流れの一例を示すフロー図である。以下、図８を参照して、本実施形態に係る求人支援サーバ１０の基本動作の処理手順について説明する。
【０１１３】
なお、下記に説明される各フロー図は、本開示に係る求人支援サーバ１０の動作の処理手順について説明するために必要なステップを例示として記載しているにすぎない。本発明の実施形態における機能が発揮される範囲において、各フロー図の各ステップの間に他の動作の処理に関するステップが適切に挿入されることを妨げるものではない。
【０１１４】
また、サービス提供のためのシステムが構築される場合、ユーザーインターフェースは一般的にイベントドリブン型でプログラムが実行されるが、本発明の実施形態におけるフ

ロー図においては、説明の便宜のために、必ずしもイベントドリブン型のフロー図に基づいて説明されるわけではない。さらに、一般的には、イベントは表示装置２００で発生させるが、求人支援サーバ１０で発生させてもよい。イベント処理は、表示装置２００によって行われてもよく、また、求人支援サーバ１０によって行われてもよい。すなわち、イベント発生またはイベント処理の主体は本発明を限定しない。以上のフロー図に関する説明は、下記で説明されるフロー図において適用されてもよい。

【０１１５】

図８において、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させる（ステップＳ８０１）。

【０１１６】

次に、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位が、入力部２０２を用いて、設定されたか否かが判定される（ステップＳ８０２）。掲載優先順位が設定されないときは（ステップＳ８０２：ＮＯ）、掲載優先順位が設定されるまで待機状態となる。

【０１１７】

一方、掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき（ステップＳ８０２：ＹＥＳ）、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうち設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ８０３）。

【０１１８】

次に、表示媒体２０１において、一の求人票フォーマットが選択されたか否かが判定され（ステップＳ８０４）、一の求人票フォーマットが選択されたことが検知されたとき（ステップＳ８０４：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０が送信した求人票データに基づき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ８０５）。

【０１１９】

一方、一の求人票フォーマットが選択されないときは（ステップＳ８０４：ＮＯ）、複数のカテゴリの掲載優先順位が再設定されたか否かが判定される（ステップＳ８０６）。掲載優先順位が再設定されないときは（ステップＳ８０６：ＮＯ）、一の求人票フォーマットが選択されるまで待機状態となる。一方、掲載優先順位が再設定されたことが検知されたとき（ステップＳ８０６：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０は、再設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ８０３）。

【０１２０】

以上、実施形態１に係る求人支援サーバ１０の処理手順の一例について説明した。

【０１２１】

図９は、実施形態１に係る求人支援サーバ１０の動作の流れの他の例を示すフロー図である。図９は、ステップＳ４０２において、複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能な情報と併せて、掲載優先順位の初期値、および、当該初期値に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像の情報が表示装置２００へ送信された場合のフロー図である。

【０１２２】

以下、図９を参照して、本実施形態に係る求人支援サーバ１０の基本動作の処理手順の他の例について説明する。なお、図９の処理ステップにおいて、図８における処理ステップと同様の処理については同一符号を付し、説明を省略する。

【０１２３】

図９において、まず、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報と、さらに、掲載優先順位の初期値、および、当該初期値に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像の情報とを用いて、表示媒体２０１において、掲載優先順位を設定可能な情報を表示させる（ステップＳ９０１）。

【０１２４】

係る場合、表示媒体２０１には、複数のカテゴリの他に、少なくとも掲載優先順位の初

期値が併せて表示される。さらに、図３に示す複数のカテゴリを示す情報３０および複数の求人票フォーマットを示す画像情報３２が、表示媒体２０１に併せて表示される場合においては、さらに、掲載優先順位の初期値に対応する複数の求人票フォーマットが表示媒体２０１に表示される。

【０１２５】

次に、掲載優先順位が設定されたか否かが判定され（ステップＳ９０２）、掲載優先順位が設定されていないときは（ステップＳ９０２：ＮＯ）、掲載優先順位の初期値に対応した複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットが選択されたか否かが判定される（ステップＳ９０３）。係る場合において、一の求人票フォーマットが選択されていないときは（ステップＳ９０３：ＮＯ）、掲載優先順位が設定されるまで待機状態となる（ステップＳ９０２）。

【０１２６】

一方、一の求人票フォーマットが選択されたことが検知されたとき（ステップＳ９０３：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０が送信した求人票データに基づき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ９０４）。その他の処理ステップは図８と同様であるため、説明を省略する。

【０１２７】

以上、図９を参照して、実施形態１に係る求人支援サーバ１０の処理手順の他の例について説明した。

【０１２８】

なお、上記説明においては、図３に示す複数のカテゴリ３０の全てのカテゴリについて掲載優先順位が設定されるものとして説明したが、その限りではない。すなわち、複数のカテゴリのうち少なくとも２つのカテゴリについて掲載優先順位が設定されるとしてもよい。

【０１２９】

係る場合、図５に示す第１テーブル情報は、複数のカテゴリのうち少なくとも２つのカテゴリについて掲載優先順位が設定されている場合の、掲載優先順位とＩＤとの対応を含んでもよい。係る場合、例えば、カテゴリ１の掲載優先順位が第１位であり、カテゴリ２の掲載優先順位が第２位であり、他のカテゴリの掲載優先順位は設定されない場合には、（１、２、ｎｕｌｌ、ｎｕｌｌ）のように掲載優先順位が示され、それに対応する一または複数のフォーマットＩＤが第１テーブルを用いて管理されてもよい。なお、「ｎｕｌｌ」は掲載優先順位が選択されていないことを示す記号の例示であって、他の記号によって、掲載優先順位が設定されていないことを示してもよい。

【０１３０】

また、係る場合、１つのカテゴリの掲載優先順位が設定されないときには、当該カテゴリは掲載優先順位が最下位であると扱ってもよい。一方で、２つ以上のカテゴリの掲載優先順位が設定されないときには、ステップＳ４０８において表示媒体２０１に表示される複数の求人票フォーマットには、掲載優先順位が設定されていない２つ以上のカテゴリの順列の全てのパターンに対応した複数の求人票フォーマットが含まれてもよい。

【０１３１】

例えば、掲載優先順位が（１、２、ｎｕｌｌ、ｎｕｌｌ）と設定されたとき、掲載優先順位が（１、２、３、４）と設定された場合にレコメンドされる複数の求人票フォーマットと、掲載優先順位が（１、２、４、３）と設定された場合にレコメンドされる複数の求人票フォーマットとが、図６に示す一の求人票フォーマットを選択可能な情報６０６に含まれてもよい。

【０１３２】

なお、図４に示すステップＳ４０４における掲載優先順位の設定は、複数のカテゴリのうち少なくとも２つ以上のカテゴリの掲載優先順位が設定されたことを含んでもよい。

【０１３３】

以上のように、本実施形態に係る求人支援サーバ１０を用いた求人支援方法は、表示媒

体２０１を有する表示装置２００と通信ネットワークによって接続された求人支援サーバ１０を備える求人支援システム１における求人支援方法であって、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうち設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる。

【０１３４】

これにより、求人者が求人において重視していることを表す求人票をＷｅｂページ上において容易に作成することに寄与することができる。

【０１３５】

なお、上記説明においては、本サービスが提供するアプリケーションの画面のみが表示媒体２０１に表示されているとして説明したが、その限りではない。すなわち、表示媒体２０１に、本サービスのアプリケーション以外のアプリケーションが別のウィンドウによって表示されていてもよい。係る場合、本サービスのアプリケーションは、任意の一のウィンドウの表示領域内において表示されてもよい。

【０１３６】

なお、本発明は上記の実施形態に限定されるものではなく、種々の変形が可能である。以下、各変形例について説明する。

【０１３７】

（変形例１）

上記の説明においては、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうちから、ユーザーにレコメンドする複数の求人票フォーマットを抽出する原因は、設定された掲載優先順位であるとして説明したが、例えば、さらに、複数のカテゴリのうち何れのカテゴリを求人票において強調するか否かの選択も、複数の求人票フォーマットを抽出する原因としてもよい。

【０１３８】

すなわち、表示媒体２０１において、複数のカテゴリのそれぞれを選択可能な第１ボタンがカテゴリごとに対応して表示されている場合において、第１ボタンを用いた選択が検知されたとき、設定された掲載優先順位に対応し、さらに、第１ボタンを用いた選択がされた一又は複数のカテゴリのみを掲載する求人票フォーマットを含む複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させてもよい。

【０１３９】

図１０は、表示媒体２０１において、複数のカテゴリ３０のそれぞれを選択可能な第１ボタン１００２、および、選択されたカテゴリに対応する求人票フォーマットの表示の一例を示す図である。図１１は、変形例１における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間の情報の送受信および情報の処理の手順の一例を示すシーケンス図である。

【０１４０】

以下、図１０および図１１を参照して、変形例１における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明する。なお、図１１において、図４において説明された情報の送受信および情報処理の内容が、適宜、適応されてもよい。

【０１４１】

図１０に示すように、例えば、表示媒体２０１には、第１の表示領域１０００と、第２の表示領域１００１とが含まれる。第１の表示領域１０００には、複数のカテゴリ３０、複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能な情報３１、および、複数のカテゴリ３０のそれぞれを選択可能な第１ボタン１００２が表示される。

【０１４２】

第２の表示領域１００１には、設定された掲載優先順位および第１ボタン１００２のそ

れぞれの選択の有無に基づいて、記憶装置３０が記憶する全ての求人票フォーマットから求人支援サーバ１０によって抽出された複数の求人票フォーマットを示す画像１００３が表示される。なお、チェックボックス６０５が第２の表示領域に表示されてもよい。

【０１４３】

図１１に示すように、ユーザーが本サービスの提供を受けるために、入力部２０２を用いて、複数カテゴリの掲載優先順位の設定、および、複数カテゴリごとの選択が可能な情報を送信するように、求人支援サーバ１０に要求する（ステップＳ１１０１）。当該要求は、図４における説明と同様に、ボタンを押下するものであってもよい。

【０１４４】

次に、表示装置２００からの要求を受けた求人支援サーバ１０は、掲載優先順位を設定可能な情報、および、複数のカテゴリごとの選択が可能な情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ１１０２）。図４と同様に、各情報は、記憶装置３００に記憶されていてもよい。

【０１４５】

なお、求人支援サーバ１０は、ステップＳ１１０２において、例えば、掲載優先順位の初期値、複数のカテゴリの選択状態の初期状態、ならびに、当該初期値および当該初期状態に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像の情報を表示装置２００へ送信してもよい。これにより、図３に示す複数のカテゴリ３０および複数の求人票フォーマットを示す画像情報３２が表示媒体２０１の一ページ上に併せて表示される場合には、ユーザーは、本サービスの開始時点から、レコメンドされる複数の求人票フォーマットを閲覧できる。

【０１４６】

次に、表示装置２００は、求人支援サーバ１０から受け取った情報に基づき、図１０に示すように、第１表示領域１０００および第２表示領域１００１を表示してもよい（ステップＳ１１０３）。

【０１４７】

なお、ステップＳ１１０２において、求人支援サーバ１０が掲載優先順位の初期値の情報、複数のカテゴリの選択状態の初期状態の情報、ならびに、当該初期値および当該初期状態に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像の情報を表示装置２００へ送信した場合、ステップＳ１１０３において、表示装置２００は少なくとも掲載優先順位の初期値および複数のカテゴリの選択状態の初期状態を表示媒体２０１に表示させてもよい。

【０１４８】

次に、表示装置２００は、表示媒体２０１において、入力部２０２を用いて掲載優先順位が設定され、且つ、第１ボタン１００２によって一または複数のカテゴリが選択されたことが検知されたとき、検知結果に対応した優先順位およびカテゴリの選択状態を表示媒体２０１に表示する（ステップＳ１１００４）。

【０１４９】

そして、設定された掲載優先順位の情報、および、第１ボタン１００２によるカテゴリの選択状態の情報を求人支援サーバ１０へ送信する（ステップＳ１１０５）。なお、図４における説明と同様に、設定された掲載優先順位の情報等が求人支援サーバ１０へ送信されるタイミングは、本発明を限定しない。

【０１５０】

次に、求人支援サーバ１０は、表示装置２００から送信された情報に基づき、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうちから、当該情報に対応する複数の求人票フォーマットを抽出する（ステップＳ１１０６）。

【０１５１】

具体的には、カテゴリの掲載優先順位およびカテゴリの選択状態を示す情報と、レコメンドされる求人票フォーマットのＩＤとを対応付ける第２テーブル情報に基づき、求人支援サーバ１０は、入力部２０２を用いて設定された掲載優先順位およびカテゴリの選択状態に対応するフォーマットＩＤを抽出する。抽出されたフォーマットＩＤに対応する複数

の求人票フォーマットは、第１ボタン１００２によって選択されたカテゴリのみを含む一または複数の求人票フォーマット、および、全てのカテゴリを含む一または複数の求人票フォーマットを含んでもよい。

【０１５２】

なお、第２テーブルは、例えば、カテゴリ１の掲載優先順位が第１位、カテゴリ２の掲載優先順位が第２位、カテゴリ３の掲載優先順位が第３位、カテゴリ４の掲載優先順位が第４位にそれぞれ設定され、且つ、カテゴリ１およびカテゴリ２のみが第１ボタン１００２によって選択されている状態を（１、２、ｎｕｌｌ、ｎｕｌｌ）のように示し、（１、２、ｎｕｌｌ、ｎｕｌｌ）と、それに対応するフォーマットＩＤとを対応付けて管理してもよい。第２テーブルは記憶装置３００に記憶されてもよい。第２テーブルは、第１テーブルのすべての情報を含み、第１テーブルに代わって、記憶装置３００に記憶されてもよい。または、第２テーブルは、第１テーブルとともに、記憶装置３００に記憶されてもよい。なお、「ｎｕｌｌ」はカテゴリが選択状態ではないことを示す記号の例示であって、他の記号によって、選択状態ではないことを示してもよい。

【０１５３】

次に、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する求人票フォーマットの情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ１１０７）。具体的には、図４におけるステップＳ４０７の説明と同様に、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する複数の求人票フォーマットを示す画像情報を表示装置２００へ送信してもよい。

【０１５４】

ステップＳ１１０７以降の情報の送受信および情報の処理の手順は、図４において説明されたステップＳ４０８からステップＳ４１２の手順および内容と同様であってもよい。具体的には、図１０に示すように、第２の表示領域１００１において、複数の求人票フォーマット１００３から一の求人票フォーマットを選択可能な情報が表示媒体２０１に表示される。表示媒体２０１において、一の求人票フォーマットが選択されたことが表示装置２００によって検知されたとき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される。

【０１５５】

なお、図６において説明された内容は、第２の表示領域１００１における複数の求人票フォーマット１００３に適用されてもよい。

【０１５６】

以上、図１０および図１１を参照して、変形例１における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明した。

【０１５７】

図１２は、変形例１に係る求人支援サーバ１０の動作の流れの一例を示すフロー図である。以下、図１２を参照して、変形例１に係る求人支援サーバ１０の動作の処理手順について説明する。

【０１５８】

図１２において、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、さらに、複数のカテゴリのそれぞれを選択可能な情報を表示させる（ステップＳ１２０１）。

【０１５９】

次に、掲載優先順位が設定されたか否か、または、複数のカテゴリのそれぞれが選択されたか否かが判定され（ステップＳ１２０２）、掲載優先順位の設定またはカテゴリの選択がされていない場合には、待機状態となる（ステップＳ１２０２：ＮＯ）。一方、掲載優先順位が設定されたか、または、カテゴリが選択された場合には（ステップＳ１２０２：ＹＥＳ）、設定された掲載優先順位と選択状態に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能に表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ１２０３）。

【０１６０】
具体的には、例えば、掲載優先順位が設定され、さらに、第１ボタン１００２を用いた選択が検知されたとき、求人支援サーバ１０は、設定された掲載優先順位に対応し、さらに、第１ボタンを用いた選択がされた一又は複数のカテゴリのみを掲載する求人票フォーマットを含む複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる。
【０１６１】
次に、表示媒体２０１において、一の求人票フォーマットが選択されたか否かが判定され（ステップＳ１２０４）、一の求人票が選択されたとき（ステップＳ１２０４：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０が送信した求人票データに基づき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ１２０５）。
【０１６２】
一方、一の求人票フォーマットが選択されないときは（ステップＳ１２０４：ＮＯ）、掲載優先順位またはカテゴリの選択状態が再設定されたか否かが判定される（ステップＳ１２０６）。掲載優先順位およびカテゴリの選択状態がいずれも再設定されないときは（ステップＳ１２０６：ＮＯ）、一の求人票フォーマットが選択されるまで待機状態になる（ステップＳ１２０４）。一方、掲載優先順位または選択状態のいずれかが再設定されたことが検知されたとき（ステップＳ１２０６：ＹＥＳ）、少なくとも一方が再設定された掲載優先順位および選択状態に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ１２０３）。
【０１６３】
以上、変形例１に係る求人支援サーバ１０の処理手順の一例について説明した。
【０１６４】
図１３は、変形例１に係る求人支援サーバ１０の動作の流れの他の例を示すフロー図である。図１３は、ステップＳ１１０２において、複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能な情報と併せて、掲載優先順位の初期値、および、複数のカテゴリの選択状態の初期状態、および、当該初期値および当該初期状態に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像の情報が表示装置２００へ送信された場合のフロー図である。
【０１６５】
以下、図１３を参照して、変形例１に係る求人支援サーバ１０の処理手順の他の例について説明する。なお、図１３の処理ステップにおいて、図１２における処理ステップと同様の処理については同一符号を付し、説明を省略する。
【０１６６】
図１３において、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する複数のカテゴリの情報と、さらに、掲載優先順位の初期値、複数のカテゴリの選択状態の初期状態、および当該初期値および当該初期状態に対応する複数の求人票フォーマットを示す画像の情報とを用いて、表示媒体２０１において、掲載優先順位および選択状態を設定可能な情報を表示させる（ステップＳ１３０１）。
【０１６７】
係る場合、表示媒体２０１には、複数のカテゴリの他に、少なくとも掲載優先順位および選択状態の初期値が併せて表示される。さらに、図３に示す複数のカテゴリを示す情報３０および複数の求人票フォーマットを示す画像情報３２が、表示媒体２０１に併せて表示される場合においては、さらに、掲載優先順位の初期値およびカテゴリ選択の初期状態に対応する複数の求人票フォーマットが表示媒体２０１に表示される。
【０１６８】
次に、掲載優先順位または選択状態が設定されたか否かが判定され（ステップＳ１３０２）、設定が未だされていないとき（ステップＳ１３０２：ＮＯ）、掲載優先順位の初期値および選択状態の初期状態に対応した複数の求人票フォーマットから一の求人票フォーマットが選択されたか否かが判定される（ステップＳ１３０３）。係る場合において、一の求人票フォーマットが選択されていないとき（ステップＳ１３０３：ＮＯ）、掲載優先

順位または選択状態が設定されるまで待機状態となる（ステップＳ１３０２）。
【０１６９】
一方、一の求人票フォーマットが選択されたことが検知されたとき（ステップＳ１３０３：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０が送信した求人票データに基づき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ１３０４）。その他の処理ステップは図１２と同様であるため、説明を省略する。
【０１７０】
以上、図１３を参照して、変形例１に係る求人支援サーバ１０の処理手順の他の例について説明した。
【０１７１】
本変形例１によれば、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位だけではなく、さらに、複数のカテゴリを求人票に含ませるか否かの選択が可能となり、掲載優先順位およびカテゴリの選択状態に基づいてレコメンドされる求人票フォーマットが抽出される。これにより、求人者であるユーザーが求人において重視している記載項目を、より強調させた求人票フォーマットを選択することが容易な求人支援サービスが提供される。
【０１７２】
なお、本変形例１の内容は、実施形態の内容だけでなく、他の変形例の各内容に適用させてもよい。
【０１７３】
（変形例２）
上記の説明においては、設定された掲載優先順位に基づいて複数の求人票フォーマットが抽出されると説明したが、さらに、求人票の記載項目の何れを求人票に掲載させるかの選択結果に基づいて、複数の求人票フォーマットが抽出されてもよい。
【０１７４】
すなわち、表示媒体２０１において、複数の記載項目のそれぞれを求人票に含ませるか否かを選択可能な第２ボタンが記載項目ごとに対応して表示されている場合において、第２ボタンを用いた選択が検知されたとき、設定された掲載優先順位に対応し、さらに、求人票に含ませる選択がされた記載項目の数に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させてもよい。
【０１７５】
図１４は、表示媒体２０１において、複数の記載項目、および、複数の記載項目ごとに求人票に含ませるか否かを選択可能な第２ボタン１４０１の表示の一例を示す図である。図１５は、変形例２における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間の情報の送受信および情報処理の手順の一例を示すシーケンス図である。
【０１７６】
以下、図１４および図１５を参照して、変形例２における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明する。なお、図１５において、図４において説明された情報の送受信および情報処理の内容が、適宜、適応されてもよい。
【０１７７】
図１４に示すように、例えば、表示媒体２０１には、複数の記載項目１４００、複数の記載項目１４００ごとに求人票に含ませるか否かを選択可能な第２ボタン１４０１、および記載項目１４００ごとに項目内容を入力可能な領域１４０２が表示される。
【０１７８】
図１４において、求人票に含ませるか否かを選択可能な記載項目１４００は、例えば、企業の理念、従業員の男女比、エンジニア比率などの任意項目である。記載項目のうち法定項目については、求人票に含ませるか否かの選択対象にならない。領域１４０２に入力されたテキストの内容は、表示媒体２０１に表示される求人票７００に表示されてもよい。
【０１７９】

また、図１４において、複数の記載項目１４００ごとに求人票に含ませるか否かを選択可能な第２ボタン１４０１としてチェックボックスが表示されているが、チェックボックスは第２ボタン１４０１の表示形態の一例にすぎず、第２ボタン１４０１の表示形態は、本発明を限定しない。

【０１８０】

なお、図１４における表示媒体２０１に表示されたページは、図示しないメニューボタンの選択によって、例えば、図１０における表示媒体２０１に表示されたページとの間で自由に移動できてもよい。

【０１８１】

また、図１４において、第２ボタン１４０１は初期状態では全てチェックされた状態であってもよい。例えば、ユーザーは、入力部２０２を用いて第２ボタン１４０１のチェック状態を解除することで、求人票に掲載させたくない項目を選択できてもよい。

【０１８２】

図１５に示すように、ユーザーが本サービスの提供を受けるために、入力部２０２を用いて、記載項目ごとの選択が可能な情報を送信するように、求人支援サーバ１０に要求する（ステップＳ１５０１）。当該要求は、図４における説明と同様に、ボタンを押下するものであってもよい。

【０１８３】

次に、表示装置２００からの要求を受けた求人支援サーバ１０は、記載項目ごとの選択が可能な情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ１５０２）。図４と同様に、各情報は、記憶装置３００に記憶されていてもよい。

【０１８４】

次に、表示装置２００は、求人支援サーバ１０から受け取った情報に基づき、図１４に示すように、記載項目１４００、記載項目ごとに選択可能な第２ボタン１４０１、および記載項目ごとに内容を入力可能な領域１４０２を表示してもよい（ステップＳ１５０３）。

【０１８５】

次に、表示装置２００は、表示媒体２０１において、第２ボタン１４０１によって記載項目を求人票に含ませるか否かの選択がされたことを検知したとき、検知結果に対応した記載項目の選択状態を表示媒体２０１に表示する（ステップＳ１５０４）。そして、記載項目の選択結果の情報を求人支援サーバ１０へ送信する（ステップＳ１５０５）。なお、図４における説明と同様に、記載項目の選択結果の情報が求人支援サーバ１０へ送信されるタイミングは、本発明を限定しない。

【０１８６】

次に、複数の記載項目のそれぞれを求人票に含ませるか否かの選択とは別に、独立して、図４に示すステップＳ４０１からステップＳ４０５の処理がされる。なお、図１５において、ステップＳ１５０１からステップＳ１５０５が処理された後に、ステップＳ４０１からステップＳ４０５が処理されるものとして説明したが、ステップＳ４０１からステップＳ４０５が処理された後に、ステップＳ１５０１からステップＳ１５０５が処理されてもよい。

【０１８７】

次に、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する全ての記載項目のうちから、ステップＳ１５０５において受信した記載項目ごとの選択結果の情報と、ステップＳ４０５において受信した掲載優先順位の情報とに対応した複数の求人票フォーマットを抽出する（ステップＳ１５０６）。具体的には、図５に示す第１テーブルに基づき、設定された掲載優先順位に対応するフォーマットＩＤを抽出し、さらに、抽出されたＩＤに対応する求人票フォーマットのうちから、所定の基準に基づいて複数の求人票フォーマットを抽出する。

【０１８８】

所定の基準とは、例えば、掲載優先順位が第１位に設定された第１カテゴリに分類され

る記載項目のうち所定数以上の記載項目を求人票に掲載させない選択がされた場合、求人票において第１カテゴリが占有する面積率が所定値以上である求人票フォーマットを、レコメンドする複数の求人票フォーマットに含ませないものであってもよい。

【０１８９】

次に、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する求人票フォーマットの情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ１５０７）。具体的には、図４におけるステップＳ４０７の説明と同様に、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する複数の求人票フォーマットを示す画像情報を表示装置２００へ送信してもよい。

【０１９０】

ステップＳ１５０７以降の情報の送受信および情報処理の手順は、図４において説明されたステップＳ４０８からステップＳ４１２と同様であってもよい。具体的な手順は、図１０についての説明と同様であるため、詳細な説明を省略する。

【０１９１】

以上、図１４および図１５を参照して、変形例２における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明した。

【０１９２】

図１６は、変形例２に係る求人支援サーバ１０の動作の流れの一例を示すフロー図である。以下、図１６を参照して、変形例２に係る求人支援サーバ１０の動作の処理手順について説明する。

【０１９３】

図１６において、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目の情報を用いて、表示媒体２０１において、複数の記載項目のうち任意項目について、求人票に掲載させるか否かを選択可能な情報を表示させる（ステップＳ１６０１）。係る場合、初期状態では、全ての任意項目が求人票に掲載させる選択がされていてもよい。

【０１９４】

次に、複数の記載項目のうち任意項目のそれぞれについて、選択状態が変更されたか否かが判定される（ステップＳ１６０２）。判定の結果、選択状態に変更があったとき（ステップＳ１６０２：ＹＥＳ）、続いて、求人支援サーバ１０は、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能に表示させる（ステップＳ１６０３）。

【０１９５】

次に、掲載優先順位が設定されたか否かが判定され（ステップＳ１６０４）、掲載優先順位の設定がされないときは（ステップＳ１６０４：ＮＯ）、掲載優先順位が設定されるまで待機状態となる。

【０１９６】

一方、表示媒体２０１において掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき（ステップＳ１６０４：ＹＥＳ）、設定された掲載優先順位、および、記載項目の選択状態に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ１６０５）。そして、表示媒体２０１において一の求人票フォーマットが選択されたことが検知された場合（ステップＳ１６０６：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０が送信した求人票データに基づき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ１６０７）。

【０１９７】

一方、ステップＳ１６０６において、一の求人票フォーマットが選択されないとき（ステップＳ１６０６：ＮＯ）、掲載優先順位または記載項目の選択状態のいずれかが再設定されたか否かが判定され（ステップＳ１６０８）、いずれも再設定されないときは（ステップＳ１６０８：ＮＯ）、一の求人票フォーマットが選択されるまで待機状態となる（ステップＳ１６０６）。一方、掲載優先順位または記載項目の選択状態が再設定されたときは（ステップＳ１６０８：ＹＥＳ）、再設定された掲載優先順位および記載項目の選択状態に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報

を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ１６０５）。
【０１９８】
ステップＳ１６０２において、選択状態に変更がないと判断されたとき（ステップＳ１６０２：ＮＯ）、すなわち、全ての記載項目を求人票に掲載する初期状態の選択がされているときは、続いて、ステップＳ１６０９およびステップＳ１６１０において、設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ１６１１）。
【０１９９】
次に、一の求人票フォーマットが選択されたか否かが判定され（ステップＳ１６１２）、一の求人票フォーマットが選択されたことが検知されたとき（ステップＳ１６１２：ＹＥＳ）、求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ１６０７）。一方、一の求人票フォーマットが選択されないときは（ステップＳ１６１２：ＮＯ）、掲載優先順位または記載項目の選択状態が再設定されたか否かが判定される（ステップＳ１６０８）。
【０２００】
以上、変形例２に係る求人支援サーバ１０の処理手順の一例について説明した。
【０２０１】
本変形例２によれば、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位だけではなく、さらに、複数の記載項目を求人票に掲載するか否かの選択が可能となり、掲載優先順位および記載項目の選択状態に基づいてレコメンドされる求人票フォーマットが抽出される。これにより、求人者であるユーザーが求人において重視している記載項目を、より強調させた求人票フォーマットを選択することが容易な求人支援サービスが提供される。
【０２０２】
なお、第２ボタン１４０１を用いた選択がされたことによって、掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目の数が所定の閾値以下であることが検知されたとき、第１カテゴリに分類される記載項目の数を増やすことを促すメッセージを表示媒体２０１に表示させてもよい。
【０２０３】
これにより、掲載優先順位が上位のカテゴリに分類される記載項目の数が少ないことにより、求人者であるユーザーが求人において重視していることを表せていない求人票が作成されることをユーザーに避けさせることができる。
【０２０４】
なお、掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目の数が所定の閾値以下であることは、表示装置２００において検知されても、求人支援サーバ１０において検知されてもよい。
【０２０５】
なお、図１４において、入力部２０２を用いて複数の記載項目１４００の内容が領域１４０２に入力される場合において、図示しない求人票のプレビュー画像が表示媒体２０１の所定の位置に併せて表示されてもよい。例えば、記載項目１４００の内容が領域１４０２に入力されることに応じて、入力された内容が、求人票のプレビュー画像に反映されてもよい。
【０２０６】
係る場合において、既にカテゴリの掲載優先順位が設定されることによって一の求人票フォーマットが選択されているときは、選択された一の求人票フォーマットに対応したプレビュー画像が表示媒体２０１に表示されてもよい。一方、一の求人票フォーマットが未だ選択されていないときは、任意の求人票フォーマットに対応したプレビュー画像が表示媒体２０１に表示されてもよい。
【０２０７】
なお、本変形例２の内容は、実施形態の内容だけでなく、他の変形例の各内容に適用させてもよい。

【０２０８】
（変形例３）
実施形態の説明においては、カテゴリの掲載優先順位に基づいて複数の求人票フォーマットが抽出されたが、さらに、求人票の記載項目に記載された文字情報の文字数、内容、または記載形式に基づいて、複数の求人票フォーマットが抽出されてもよい。
【０２０９】
すなわち、表示媒体２０１において、表示装置２００が備える入力部２０２を用いて複数の記載項目のそれぞれに文字情報を入力できる領域が表示されている場合において、文字情報が入力されたことが検知されたとき、設定された掲載優先順位に対応し、さらに、入力された文字情報の文字数、内容、または記載形式に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させてもよい。
【０２１０】
係る場合、文字情報の内容とは、例えば、職業の内容であってもよい。また、文字情報の記載形式とは、例えば、箇条書きの形式であってもよい。
【０２１１】
図１７は、変形例３における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間の情報の送受信および情報処理の手順の一例を示すシーケンス図である。以下、図１７を参照して、変形例３における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明する。
【０２１２】
図１７に示すように、ユーザーが本サービスの提供を受けるために、入力部２０２を用いて、記載項目ごとに文字情報を入力できる情報を送信するように、求人支援サーバ１０に要求する（ステップＳ１７０１）。当該要求は、図４における説明と同様に、ボタンを押下するものであってもよい。
【０２１３】
次に、表示装置２００からの要求を受けた求人支援サーバ１０は、記載項目ごとに文字入力が可能な情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ１７０２）。記載項目ごとに文字入力が可能な情報とは、例えば、図１４における領域１４０２であってもよい。図４と同様に、各情報は、記憶装置３００に記憶されていてもよい。
【０２１４】
次に、表示装置２００は、求人支援サーバ１０から受け取った情報に基づき、図１４に示すように、少なくとも記載項目１４００および領域１４０２を表示してもよい（ステップＳ１７０３）。第２ボタン１４０１が表示されるか否かは、本発明を限定しない。
【０２１５】
次に、表示装置２００は、表示媒体２０１において、入力部２０２を用いて入力された文字情報を領域１４０２に表示させる（ステップＳ１７０４）。そして、表示装置２００は、記載項目ごとの文字情報を求人支援サーバ１０へ送信する（ステップＳ１７０５）。なお、図４における説明と同様に、記載項目の文字情報が求人支援サーバ１０へ送信されるタイミングは、本発明を限定しない。
【０２１６】
次に、記載項目ごとの文字情報の入力とは別に、独立して、図４に示すステップＳ４０１からステップＳ４０５の処理がされる。なお、図１７において、ステップＳ１７０１からステップＳ１７０５が処理された後に、ステップＳ４０１からステップＳ４０５が処理されるものとして説明したが、ステップＳ４０１からステップＳ４０５が処理された後に、ステップＳ１７０１からステップＳ１７０５が処理されてもよい。
【０２１７】
次に、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する全ての記載項目のうちから、ステップＳ１７０５において受信した文字情報の文字数、内容、または記載形式と、ステップＳ４０５において受信した掲載優先順位の情報とに対応した複数の求人票フォーマッ

トを抽出する（ステップＳ１７０６）。具体的には、図５に示す第１テーブルに設定された掲載優先順位に対応するフォーマットＩＤを抽出し、さらに、抽出されたＩＤに対応する求人票フォーマットのうちから、所定の基準に基づいて複数の求人票フォーマットを抽出する。

【０２１８】

所定の基準とは、例えば、掲載優先順位が第１位に設定された第１カテゴリに分類される全ての記載項目の文字情報の文字数が所定値以下である場合、求人票において第１カテゴリが占有する面積率が所定値以上である求人票フォーマットを、レコメンドする複数の求人票フォーマットに含ませないものであってもよい。

【０２１９】

また、所定の基準とは、例えば、記載項目の文字情報の記載形式が箇条書きであると求人支援サーバ等において判定された場合、予め求人票フォーマットの第１テーブルに列挙されるフォーマットＩＤに付与されたラベルに基づき、箇条書き形式には適さない求人票フォーマットを、レコメンドする複数の求人票フォーマットに含ませないものであってもよい。なお、文字情報の記載形式が箇条書きであるか否かを判定する情報処理技術は公知であるため、詳細な説明は省略する。

【０２２０】

また、所定の基準とは、例えば、記載項目の文字情報の内容が、技術者の求人であるか否か、デザイナーの求人であるか否か、管理職の求人であるか否かなどを判定し、予め求人票フォーマットの第１テーブルに列挙されるフォーマットＩＤに付与されたラベルに基づき、判定結果に適した求人票フォーマットをレコメンドするものであってもよい。なお、文字情報の内容を判定する情報処理技術は公知であるため、詳細な説明は省略する。

【０２２１】

次に、求人支援サーバ１０は、掲載優先順位および記載項目の文字数、内容、または記載形式に基づいて抽出された複数の求人票フォーマットの情報を表示装置２００へ送信する（ステップＳ１７０７）。具体的には、図４におけるステップＳ４０７の説明と同様に、求人支援サーバ１０は、抽出されたＩＤに対応する複数の求人票フォーマットを示す画像情報を表示装置２００へ送信してもよい。

【０２２２】

ステップＳ１７０７以降の情報の送受信および情報処理の手順は、図４において説明されたステップＳ４０８からステップＳ４１２と同様であってもよい。具体的な手順は、図１０についての説明と同様であるため、詳細な説明を省略する。

【０２２３】

以上、図１７を参照して、変形例３における求人支援サーバ１０と表示装置２００との間で行われる情報の送受信および情報処理について説明した。

【０２２４】

図１８は、変形例３に係る求人支援サーバ１０の動作の流れの一例を示すフロー図である。以下、図１８を参照して、変形例３に係る求人支援サーバ１０の動作の処理手順について説明する。

【０２２５】

図１８において、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目の情報を用いて、表示媒体２０１において、複数の記載項目ごとに文字入力が可能な情報を表示させる（ステップＳ１８０１）。記載項目ごとに文字入力が可能な情報とは、例えば、図１４における領域１４０２であってもよい。

【０２２６】

次に、表示媒体２０１において複数の記載項目ごとに文字情報が入力されたか否かが判定され（ステップＳ１８０２）、文字情報が入力されないときは（ステップＳ１８０２：ＮＯ）、文字情報が入力されるまで待機状態となる。一方、記載項目の文字情報が入力されたとき（ステップＳ１８０２：ＹＥＳ）、続いて、求人支援サーバ１０は、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの掲載優先順位を設定可能に表示させる（ステップＳ１８

０３）。
【０２２７】
次に、掲載優先順位が設定されたか否かが判定され（ステップＳ１８０４）、掲載優先順位の設定がされないとき（ステップＳ１８０４：ＮＯ）、掲載優先順位が設定されるまで待機状態となる。
【０２２８】
一方、表示媒体２０１において掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき（ステップＳ１８０４：ＹＥＳ）、設定された掲載優先順位、および、記載項目の文字情報の文字数、内容、または記載形式に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ１８０５）。そして、表示媒体２０１において一の求人票フォーマットが選択された場合（ステップＳ１８０６：ＹＥＳ）、求人支援サーバ１０が送信した求人票データに基づき、ユーザーが選択した求人票７００が表示媒体２０１に表示される（ステップＳ１８０７）。
【０２２９】
一方、ステップＳ１８０６において、一の求人票フォーマットが選択されないとき（ステップＳ１８０６：ＮＯ）、掲載優先順位が再設定されたか、または、記載項目の文字情報が更新されたか否かが判定され（ステップＳ１８０８）、再設定または更新のいずれもされないときは（ステップＳ１８０８：ＮＯ）、一の求人票フォーマットが選択されるまで待機状態となる（ステップＳ１８０６）。
【０２３０】
一方、掲載優先順位が再設定され、または、記載項目の文字情報が更新されたときは（ステップＳ１８０８：ＹＥＳ）、再設定された掲載優先順位および更新された記載項目の文字情報に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる（ステップＳ１８０５）。
【０２３１】
以上、変形例３に係る求人支援サーバ１０の処理手順の一例について説明した。
【０２３２】
本変形例３によれば、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位だけではなく、さらに、複数の記載項目に入力された文字情報の文字数、内容、または記載形式に基づいてレコメンドされる求人票フォーマットが抽出される。これにより、求人者であるユーザーが求人において重視している記載項目を、より訴求させた求人票フォーマットを選択することが容易な求人支援サービスが提供される。
【０２３３】
なお、掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目に入力された文字情報の文字数が所定の閾値以下であることが検知されたとき、第１カテゴリに分類される記載項目の文字数を増やすことを促すメッセージを表示媒体２０１に表示させてもよい。
【０２３４】
これにより、掲載優先順位が上位のカテゴリに分類される記載項目の文字情報が少ないことにより、求人者であるユーザーが求人において重視していることを表せていない求人票が作成されることをユーザーに避けさせることができる。
【０２３５】
なお、掲載優先順位において第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目の文字情報の文字数が所定の閾値以下であることは、表示装置２００において検知されても、求人支援サーバ１０において検知されてもよい。
【０２３６】
なお、本変形例３の内容は、実施形態の内容だけでなく、他の変形例の各内容に適用させてもよい。
【０２３７】
（変形例４）

実施形態の説明においては、カテゴリの掲載優先順位に基づいて複数の求人票フォーマットが抽出されたが、さらに、記載項目のそれぞれに対して画像データを掲載させるために、本サービスに係るＷｅｂサイト上に入力部２０２を用いて画像データをアップロードできる場合において、一の求人票に対して掲載させる画像の数に基づいて、複数の求人票フォーマットが抽出されてもよい。

【０２３８】

すなわち、表示装置２００が備える入力部２０２を用いて求人票に任意の画像データを掲載させる選択ができる場合において、複数の画像データを掲載する選択がされたことが検知されたとき、設定された掲載優先順位に対応し、さらに、画像データの数に基づいて抽出された複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させてもよい。具体的には、図５に示す第１テーブルに設定された掲載優先順位に対応するフォーマットＩＤを抽出し、さらに、抽出されたＩＤに対応する求人票フォーマットのうちから、所定の基準に基づいて複数の求人票フォーマットを抽出する。

【０２３９】

所定の基準とは、例えば、掲載優先順位が第１位に設定された第１カテゴリに分類される記載項目に関連付けられた画像データの数が所定数以上であるとき、第１カテゴリに分類される記載項目の文字情報の文字数を確保するために、第１カテゴリの求人票における占有面積率が所定値以上の求人票フォーマットだけを、レコメンドする複数の求人票フォーマットに含ませるものであってもよい。

【０２４０】

これにより、画像データが多く用いられる求人票であっても、求人者が求人において重視していることを表す求人票をＷｅｂページ上において容易に作成することができる。

【０２４１】

なお、本変形例４の内容は、実施形態の内容だけでなく、他の変形例の各内容に適用させてもよい。

【０２４２】

（変形例５）

上記の説明においては、求人票の記載項目の内容は、ユーザーが入力部２０２を用いて作成するものとして説明したが、ユーザーが予め定められた複数のキーワードから求人情報に関するキーワードを選択することで、記載項目の文章が求人支援サーバ１０によって自動生成されてもよい。

【０２４３】

すなわち、表示媒体２０１において、表示装置２００が備える入力部２０２を用いて求人票の内容に関する複数のキーワードを設定可能な情報が表示されている場合において、複数のキーワードが設定されたことが検知されたとき、設定されたキーワードを用いて複数の求人票サンプルから抽出された文字情報に基づいて文章を生成し、生成された文章を求人票の複数の記載項目のうち少なくとも１つの記載項目の内容として表示媒体２０１に表示させてもよい。

【０２４４】

図１９は、求人票の内容に関するキーワードを設定可能な情報の表示の一例を示す図である。図２０は、変形例５における求人支援サーバ１０の動作の流れの一例を示す図である。以下、図１９および図２０を参照して、変形例５における求人支援サーバ１０の動作の流れについて説明する。

【０２４５】

図２０に示すように、求人支援サーバ１０は、記憶装置３００が記憶する複数のキーワード情報を用いて、表示媒体２０１において、求人票の内容に関する複数のキーワードを設定可能な情報を表示させる（ステップＳ２００１）。複数のキーワードを設定可能な情報とは、例えば、図１９における表示媒体２０１に表示される画面情報であってもよい。なお、複数のキーワードを設定可能な画面は、本サービスに係るＷｅｂサイトの他のペー

ジにおいて、ユーザーが所定のボタンを押下することで表示されてもよい。

【０２４６】

図１９に示す表示媒体２０１において、求人票の内容に関する複数のキーワード１９００が表示されている。具体的には、例えば、職種に関するキーワードとして、営業、マーケティング、およびエンジニアなどが表示媒体２０１に表示されており、ユーザーは入力部２０２を用いて、これらのうちから一のキーワードを設定できる。また、例えば、業界に関するキーワードとして、インターネット、金融、製造業などが表示媒体２０１に表示されており、ユーザーは入力部２０２を用いて、これらのうちから一のキーワードを設定できる。

【０２４７】

なお、図１９に示すキーワード１９００は例示であって、具体的なキーワードの名称は本発明を限定しない。また、図１９においては、キーワードを設定する方法としてチェックボックスをチェックするものとして説明したが、この限りではない。キーワードを設定する方法は、本発明を限定しない。

【０２４８】

図２０に戻り、次に、表示媒体２０１に表示された項目１９０１ごとにキーワード１９００が選択されたか否かが判定される（ステップＳ２００２）。キーワード１９００が選択されないとき（ステップＳ２００２：ＮＯ）、キーワード１９００の選択がされるまで待機状態となる。一方、表示媒体２０１において、キーワード１９００が選択されたことが検知されたとき（ステップＳ２００２：ＹＥＳ）、キーワード１９００を用いて複数の求人票サンプルから抽出された文字情報に基づいて記載項目の内容である文章を生成する（ステップＳ２００３）。

【０２４９】

なお、抽出された文字情報に基づいて生成された文章は、複数の記載項目のうち、少なくとも１つの記載項目の内容であってもよい。例えば、具体的な仕事内容、求人タイトルなど一部の記載項目の内容が、抽出された文字情報に基づく文章であればよく、他の記載項目は、ユーザーが入力部２０２を用いて生成してもよい。

【０２５０】

以下、キーワードを用いて複数の求人票サンプルから抽出された文字情報に基づいて文章を生成する方法について説明する。

【０２５１】

図１９に示す複数のキーワード１９００のそれぞれにはベクトル値が予め付与されている。キーワード１９００のベクトル値は、予め用意された複数の求人票サンプルに含まれる単語、句、またはセンテンス等の文字情報に対してＤｏｃ２Ｖｅｃ技術などを用いて付与されたベクトル値が与えられている。すなわち、予め用意された求人票サンプルの全ての文字情報の中に登場する単語、句、またはセンテンス等の文字情報に、キーワード１９００と同一の単語等が含まれている場合、当該同一の単語等の文字情報に付与されたベクトル値を、そのままキーワード１９００にも与えてもよい。複数の求人票サンプル、および、各ベクトル値は記憶装置３００によって記憶されていてもよい。

【０２５２】

なお、本開示において、センテンスとは、１つの句点によって区切られる文字情報の集合、または、箇条書きにおける各項目を意味する。また、本開示において、句とは、連続した単語によって形成されるセンテンスの一部である。すなわち、文章はセンテンスの集合であり、センテンスは句の集合であり、句は単語の集合である。

【０２５３】

なお、各求人票サンプルにおいて、記載項目ごとの文章には、何れの記載項目の文章であるかを示す所定のラベルが付与されていてもよい。例えば、複数の記載項目のうち第１の記載項目の文章を生成する場合において、合成されたベクトル値との距離値を計る対象は、求人票サンプルの文章のうち第１の記載項目に対応付けられた文章のベクトル値に限定してもよい。係る場合、求人票サンプルの文章に付与された、何れの記載項目の文章で

あるかを示す所定のラベルが用いられてもよい。

【０２５４】

ユーザーが入力部２０２を用いて、項目１９０１ごとにキーワード１９００を設定した場合、設定されたキーワード１９００の情報が表示装置２００から求人支援サーバ１０へ送信される。求人支援サーバ１０は、受信された複数のキーワードのそれぞれのベクトル値を記憶装置３００から読み出してベクトル値を合成する。そして、記憶装置３００に記憶された複数の求人票サンプルに含まれる単語等に付与されたベクトル値のうち、合成されたベクトル値との距離値が所定の閾値以下であるベクトル値を抽出する。

【０２５５】

ベクトル値が抽出される場合において、抽出対象をセンテンスのベクトル値としてもよい。係る場合、当該センテンスが自動生成された文章として扱われ、求人票の複数の記載項目の内容として表示媒体２０１に表示されてもよい。なお、複数のベクトル値が抽出された場合、それぞれに対応するセンテンスも複数存在する。係る場合において、複数のセンテンスが自動生成された複数の文章として表示媒体２０１に表示され、入力部２０２を用いて、ユーザーが何れの文章を求人票の記載項目の文章とするかを選択できるとしてもよい。

【０２５６】

すなわち、表示媒体２０１において、任意の記載項目に対して複数の文章が表示され、入力部２０２を用いて複数の文章から一の文章を選択可能な情報が表示される場合において、一の文章が選択されたことが検知されたとき、選択された文章を任意の記載項目の内容とする求人票を表示媒体２０１に表示させてもよい。

【０２５７】

一方、ベクトル値が抽出される場合において、抽出対象を単語または句のベクトル値としてもよい。係る場合、抽出された単語または句を用いて文章を自動生成してもよい。係る場合、抽出された複数の単語または句を用いて、ＬＳＴＭ（Ｌｏｎｇ　Ｓｈｏｒｔ－Ｔｅｒｍ　Ｍｅｍｏｒｙ）技術等を用いて文章を自動生成してもよい。ＬＳＴＭ技術に用いる学習モデルは、複数の求人票サンプルに基づいてディープラーニングなどの機械学習の手法を用いて作成してもよい。

【０２５８】

なお、複数の求人票サンプルは、求人支援サーバ１０によるサービス提供の事前に、マッチングに効果的であった求人票を収集したサンプル集であってもよい。求人票がマッチングに効果的であったか否かの判断は、例えば、任意の求人票のデータの特徴量に基づき、マッチングに効果的であったか否かを分類する学習モデルによって判断してもよい。当該学習モデルは、例えば、人事業務の経験に基づいてラベル付けされた求人票データ、および、既に求人に対する応募喚起率が所定値以上であることが既知である求人支援システム１を用いて生成された求人票データを教師データとして機械学習させたモデルであってもよい。

【０２５９】

すなわち、複数の求人票サンプルは、任意の求人票データの特徴量に基づき学習モデルによって特定のグループに分類された求人票データを含み、学習モデルは、求人支援システム１を用いて生成された求人票データを教師データに含む機械学習によって生成されたモデルであってもよい。

【０２６０】

以上、キーワードを用いて複数の求人票サンプルから抽出された文字情報に基づいて文章を生成する方法について説明した。なお、Ｄｏｃ２Ｖｅｃ技術は公知技術であるため、詳細な説明は省略した。

【０２６１】

このように、変形例５によれば、ユーザーが自ら記載項目の内容である文章を作成することなく、マッチングに効果的な文章を自動生成することができる。これにより、求人者であるユーザーが求人において重視している記載項目を強調させた上で、さらにマッチン

グに効果的な記載項目の文章の作成を容易にする求人支援サーバが提供される。
【０２６２】
なお、本変形例５の内容は、実施形態の内容だけでなく、他の変形例の各内容に適用させてもよい。
【０２６３】
（変形例６）
実施形態の説明においては、カテゴリの掲載優先順位に基づいて複数の求人票フォーマットが抽出されたが、さらに、複数の出力媒体のうちから求人票７００を出力する一の出力媒体を選択可能な情報が表示されている場合において、選択された出力媒体の種類に応じて、複数の求人票フォーマットが抽出されてもよい。
【０２６４】
すなわち、表示媒体２０１において、表示装置２００が備える入力部２０２を用いて、複数の出力媒体のうちから求人票７００を出力する一の出力媒体を選択可能な情報が表示されている場合において、一の出力媒体が選択されたことが検知されたとき、設定された掲載優先順位に対応し、さらに、選択された一の出力媒体に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させてもよい。
【０２６５】
出力媒体とは、例えば、ＳＮＳ（Ｓｏｃｉａｌ　Ｎｅｔｗｏｒｋｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ）に含まれる複数のサービス又はサイトであってもよい。
【０２６６】
ＳＮＳに含まれるサービス等は、相互に、配信する画像情報のサイズ等の表示態様が異なる。そのため、汎用的な求人票フォーマットに基づいて作成された求人票を各ＳＮＳによって展開する場合、各ＳＮＳを用いて展開する前に、求人票の表示態様をユーザーが加工または編集する必要が生じる場合がある。
【０２６７】
本変形例においては、複数の求人票フォーマットをユーザーにレコメンドする場合において、ユーザーが選択した出力媒体の種類に応じた求人票フォーマットをレコメンドすることにより、ユーザーは、求人票を各ＳＮＳによって展開する前に、求人票を加工または編集する必要性を省くことができる。
【０２６８】
具体的には、例えば、図３または図１０に示すように、複数のカテゴリ３０の掲載優先順位を設定する画面において、図示しない第３の表示領域が表示画面に含まれていてもよい。第３の表示領域には、求人票を出力する媒体である複数の出力媒体のうちから一の出力媒体を選択可能な情報が表示されていてもよい。
【０２６９】
出力媒体を選択可能な情報は、例えば、複数の出力媒体をプルダウン方式によって選択することができる画像情報であってもよい。ユーザーは、入力部２０２を用いて、複数の出力媒体から、一の出力媒体を選択することができてもよい。なお、出力媒体を選択可能な情報の表示態様は、本発明の範囲を限定しない。
【０２７０】
ユーザーによって一の出力媒体が選択されたことが表示媒体２０１上において検知され、且つ、複数のカテゴリの掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、求人支援サーバ１０は、出力媒体の選択結果および複数のカテゴリの掲載優先順位に基づき、ユーザーに対してレコメンドする複数の求人票フォーマットを抽出してもよい。
【０２７１】
これにより、本サービスのユーザーが求人票をインターネットにより展開する場合において、求人支援サーバ１０は、ユーザーに対して、ユーザーが求人票を展開する出力媒体のフォーマットに適した一又は複数の求人票フォーマットをレコメンドするサービスを提供できる。ユーザーは、本サービスにおいて作成した求人票に対して画像サイズなどのフ

ォーマットを加工することなく、求人票を所定の公衆へ送信することができる。
【０２７２】
なお、出力媒体を選択可能な情報は、図３または図１０に示す画面を含むページとは独立した、出力媒体選択ページに表示されてもよい。ユーザーは、出力媒体選択ページにおいて、入力部２０２を用いて一の出力媒体を選択できてもよい。
【０２７３】
係る場合、ユーザーによって一の出力媒体が選択されたことが検知されたとき、出力媒体選択ページから、図３または図１０に示す画面を含むページへ、ページが遷移されてもよい。また、図３または図１０に示す画面を含むページにおいてカテゴリの掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、ページが出力媒体選択ページへ遷移されてもよい。
【０２７４】
ページ遷移は、表示媒体２０１において所定のプログラムにより自動的に行われてもよい。また、ページ遷移は、表示媒体２０１において、図示しないメニューバーに表示されているページ名のうちから、一のページが入力部２０２を用いて選択されることにより行われてもよい。
【０２７５】
なお、本変形例６の内容は、実施形態の内容だけでなく、他の変形例の各内容に適用させてもよい。
【０２７６】
以上、本発明の各変形例について説明した。各変形例の内容は、適切な形式で相互に適用されても構わない。
【０２７７】
なお、上記の説明において、入力部２０２を用いて記載項目ごとに文字情報を入力する場合、または、記載項目ごとに文字情報を自動入力する場合において、最後に記載項目に文字情報を入力したタイミングから所定期間が経過した場合、求人者の情報が変更されている場合もある。求人者の情報とは、例えば、従業員の数、従業員の男女比などの情報である。
【０２７８】
これに対して、求人支援サーバ１０は、本サービスに係るＷｅｂサイト上において、メールアドレス等の宛先、および、所定期間を設定することで、最後に記載項目の文字情報を更新してから所定期間が経過したときに、設定された宛先に対して自動的に通知してもよい。係る場合において、複数の記載項目のそれぞれに対して宛先等を設定するのではなく、ユーザーが宛先等を割り当てる際の基準に悩むことを避けるために、予め複数の記載項目を複数の集合体に分け、各集合に対して宛先等を割り当てるようにしてもよい。
【０２７９】
複数の集合は、複数のカテゴリとは別の観点から、記載項目を分類するものである。複数のカテゴリは、記載項目を求人情報としての性質という観点から分類する軸である。一方、複数の集合は、記載項目に記載された文字情報を誰が確認すべきであるかという観点から記載項目を分類する軸である。
【０２８０】
複数の集合は、例えば、現場担当者という第１集合と、人事担当者という第２集合とを含んでもよい。係る場合、記載項目のうち、例えば、担当プロダクト、職種の概要などは第１集合に含まれ、企業の理念、従業員の男女比、制服着用義務などは第２集合に含まれる。本サービスのユーザーは、記載項目ごとに宛先等を設定することなく、複数の集合のそれぞれの性質を考慮して、宛先を割り当てることができる。
【０２８１】
すなわち、表示媒体２０１において、表示装置２００が備える入力部２０２を用いて、複数の記載項目のそれぞれに文字情報を入力又は編集できる領域、並びに、入力部２０２を用いて、複数の記載項目のうち第１集合にまとめて第１宛先を対応付けることができ、複数の記載項目のうち第１集合とは異なる第２集合にまとめて第２宛先を対応付けること

ができる領域が表示されている場合において、複数の記載項目ごとに、文字情報を最後に入力又は編集したタイミングから所定期間が経過したことが検知されたとき、検知された記載項目が第１集合に含まれるときは、第１宛先に所定メッセージを送信し、検知された記載項目が第２集合に含まれるときは、第２宛先に所定メッセージを送信してもよい。

【０２８２】

係る場合、所定メッセージとは、記載項目の文字情報が最新の状態であるか否かを確認することを促すメッセージであってもよい。

【０２８３】

また、第１集合は、複数の記載項目のうち、求人票の応募者が配属される予定である部門の職務または職能に関する項目の集合であり、第２集合は、複数の記載項目のうち、人事に関する項目の集合であってもよい。

【０２８４】

図２１は、表示媒体２０１において、求人票の記載項目の集合に、まとめて宛先を対応させる表示の一例を示す図である。図２１において、表示媒体２０１には、例えば、表示領域２１００、および、表示領域２１０１が含まれる。表示領域２１００は、例えば、複数の記載項目１４００、および、複数の記載項目１４００ごとに項目内容を入力することができる領域１４０２が含まれる。表示領域２１０１には、現場担当として宛先１を入力可能な領域２１０２と、人事担当として宛先２を入力可能な領域２１０３とが含まれる。係る場合、現場担当が集合１に相当し、人事担当が集合２に相当する。

【０２８５】

これにより、集合１に割り当てられる一部の記載項目にまとめて第１宛先を対応付けることができ、集合２に割り当てられる他の記載項目にまとめて第２宛先を対応付けることができ、記載項目の内容を確認する担当者を簡易に設定しつつ、Ｗｅｂページ上において求人票７００を作成する場合の記載項目の内容を最新の状態に保つことに寄与する求人支援サーバを提供できる。

【０２８６】

（コンピュータのハードウェア構成の一例）

実施形態および各変形例における各部の機能は、プログラムにより実現されてもよい。

【０２８７】

すなわち、本発明の一態様に係る求人支援プログラムは、表示媒体２０１を有する表示装置２００と通信する通信処理と、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうち設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる制御処理と、をコンピュータに実行させるようにしてもよい。

【０２８８】

係る場合におけるコンピュータのハードウェア構成の一例を図２２に示す。

【０２８９】

図２２に示すように、コンピュータ９０００は、例えば、ＣＰＵ（Central Processing Unit）９００１、ＲＡＭ（Random Access Memory）９００２、ＲＯＭ（Read Only Memory）９００３、記憶装置９００４、入出力インターフェース（Ｉ／Ｆ）９００５、読取インターフェース（Ｉ／Ｆ）９００６、通信インターフェース（Ｉ／Ｆ）９００７を有する。上述した各部はバス９００８を介して、直接的に、または、間接的に接続される。

【０２９０】

記憶装置９００４は、例えば、ＨＤＤ（Hard Disk Drive）、ＳＳＤ（Solid State Drive）等である。コンピュータ９０００は、入出力インターフェース９００５を介して、入出力（Ｉ／Ｏ）装置９００９と接続される。入出力装置９００９は、磁気ディスク装置等の入力機能および出力機能を有する装置の他、入力機能が主機能である入力装置、出力機

能が主機能である出力装置を含む。入力装置は、例えば、入力キー、マウス、タッチパネル、スキャナである。出力装置は、例えば、ディスプレイ、スピーカ、プリンタである。

【０２９１】

読取インターフェース９００６は、記録媒体９０１０に記録されたプログラムまたはデータを読み取る。記録媒体９０１０は、例えば、半導体メモリ、光学記録媒体、磁気記録媒体、光磁気記録媒体等である。

【０２９２】

通信インターフェース９００７は、ネットワーク９０１１を介して、他の機器からデータを受信し、他の機器へデータを送信する。ネットワーク９０１１は、有線ネットワークであってもよく、無線ネットワークであってもよい。他の機器は、クライアント装置であってもよく、サーバ装置であってもよい。

【０２９３】

例えば、ＲＯＭ９００３に記憶されたプログラム、記憶装置９００４に記憶されたプログラム、記録媒体９０１０に記録されたプログラム、または、通信インターフェースが他の機器から受信したプログラムは、ＲＡＭ９００２にロードされる。上記の実施形態および各変形例において、例えば、ＣＰＵ９００１がＲＡＭ９００２にロードされたプログラムを実行することにより、上記の実施形態等における各部の機能が実現される。

【０２９４】

なお、コンピュータ９０００における各部の機能は、クラウドコンピューティングによって実現されてもよい。

【０２９５】

なお、求人支援システム１におけるコンピュータに実行させる求人支援プログラムまたは説明された機能は、非一時的な有形のコンピュータ可読記録媒体（A non-transitory, tangible computer-readable storage medium）に記録されてもよい。非一時的な有形のコンピュータ可読記録媒体は、コンピュータ、ＣＰＵ、ＭＰＵ（Micro Processing Unit）等によってアクセスされることが可能な任意の記録媒体である。任意の記録媒体は、例えば、ＲＯＭ、ＲＡＭ、フラッシュメモリ、磁気記憶装置、光ディスク等であって、例示したものに限定されない。

【０２９６】

なお、以上の説明において、Ａ、ＢおよびＣのうち少なくとも１つ（at least one of）が含まれるとは、Ａ、Ｂ、Ｃのうち１つまたは２つ以上（one or two or more of）の組み合わせでもよいという意味であってもよい。

【産業上の利用可能性】

【０２９７】

本発明に係る求人支援方法、求人支援装置、求人支援プログラム、および記録媒体は、Ｗｅｂページ上において、求人者が求人において重視していることを表す求人票の作成処理に関する技術全般に有効である。

【符号の説明】

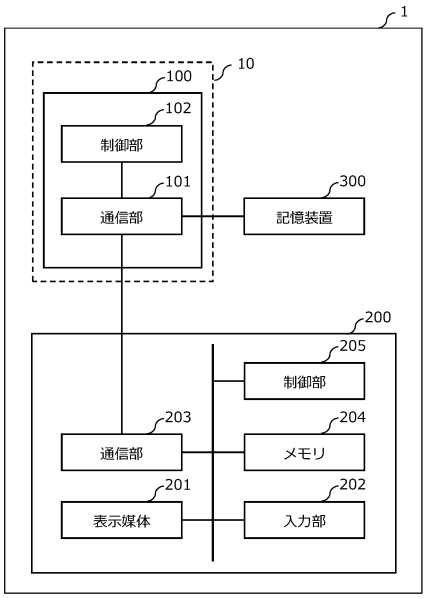
【０２９８】

１　求人支援システム
１０　求人支援サーバ
１００　求人支援装置
１０１　通信部
１０２　制御部
２００　表示装置
２０１　表示媒体
２０２　入力部
２０３　通信部
２０４　メモリ
２０５　制御部

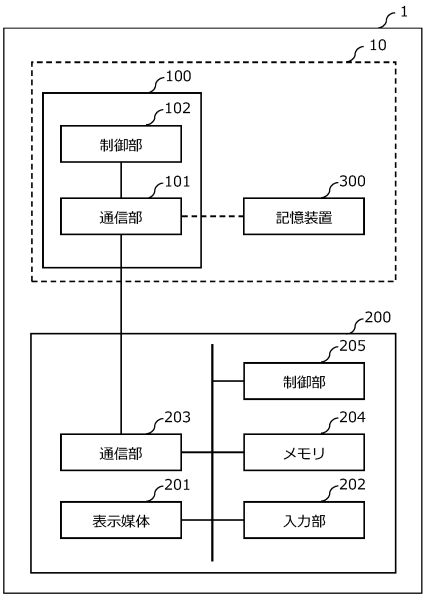
３００　記憶装置
５０１　テーブル
６００　求人票フォーマット
７００　求人票
９０００　コンピュータ
９００１　ＣＰＵ
９００２　ＲＡＭ
９００３　ＲＯＭ
９００４　記憶装置
９００５　入出力インターフェース
９００６　読取インターフェース
９００７　通信インターフェース
９００８　バス
９００９　入出力装置
９０１０　記録媒体
９０１１　ネットワーク

【要約】
【課題】求人者が求人において重視していることを表す求人票をＷｅｂページ上で作成することを容易にさせる。
【解決手段】求人支援方法は、表示媒体２０１を有する表示装置２００と通信ネットワークによって接続された求人支援サーバ１０を備える求人支援システム１における求人支援方法であって、記憶装置３００が記憶する求人票の複数の記載項目を分類する複数のカテゴリの情報を用いて、表示媒体２０１において、複数のカテゴリの求人票における掲載優先順位を設定可能な情報を表示させ、掲載優先順位が設定されたことが検知されたとき、記憶装置３００が記憶する全ての求人票フォーマットのうち設定された掲載優先順位に対応する複数の求人票フォーマットから、一の求人票フォーマットを選択可能な情報を表示媒体２０１に表示させる。
【選択図】図１

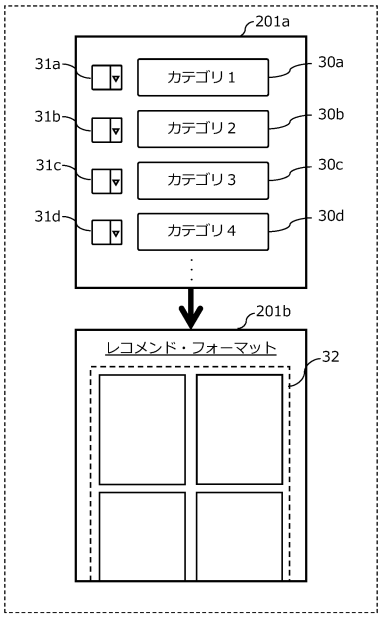
【図１】


1
10
100
102
制御部
101
通信部
300
記憶装置
200
205
制御部
203
通信部
204
メモリ
201
表示媒体
202
入力部

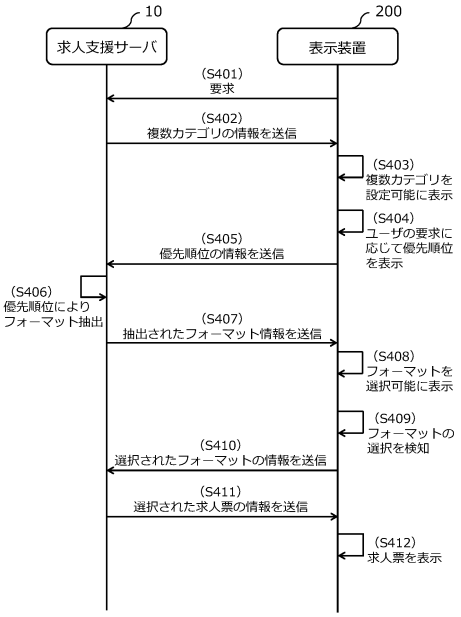
【図２】


1
10
100
102
制御部
101
通信部
300
記憶装置
200
205
制御部
203
通信部
204
メモリ
201
表示媒体
202
入力部

【図３】


201a
31a
カテゴリ１
30a
31b
カテゴリ２
30b
31c
カテゴリ３
30c
31d
カテゴリ４
30d
201b
レコメンド・フォーマット
32

【図４】

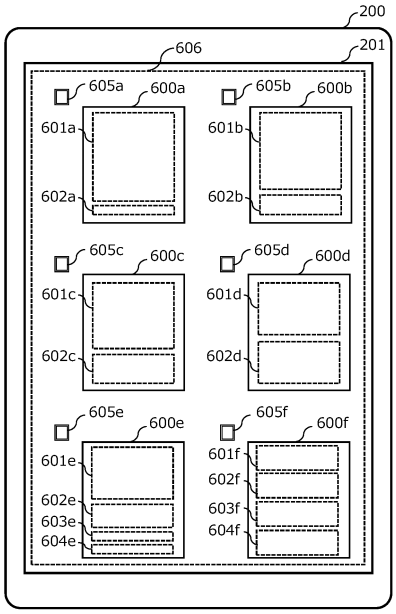

10
求人支援サーバ
200
表示装置
(S401)
要求
(S402)
複数カテゴリの情報を送信
(S403)
複数カテゴリを
設定可能に表示
(S404)
ユーザの要求に
応じて優先順位
を表示
(S405)
優先順位の情報を送信
(S406)
優先順位により
フォーマット抽出
(S407)
抽出されたフォーマット情報を送信
(S408)
フォーマットを
選択可能に表示
(S409)
フォーマットの
選択を検知
(S410)
選択されたフォーマットの情報を送信
(S411)
選択された求人票の情報を送信
(S412)
求人票を表示

【図５】

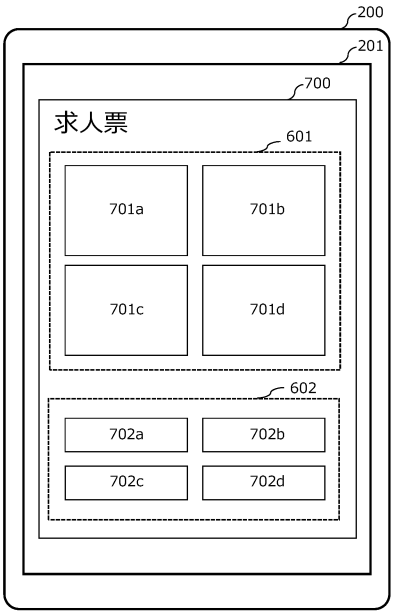
501

優先順位	推薦フォーマットID
1,2,3,4	1
1,2,3,4	3
1,2,3,4	4
1,2,3,4	6
1,2,3,4	7
1,2,3,4	11
1,2,4,3	1
1,2,4,3	3
1,2,4,3	4
1,2,4,3	5
1,2,4,3	8
1,2,4,3	9
1,3,2,4	1
1,3,2,4	2
1,3,2,4	5
……	……

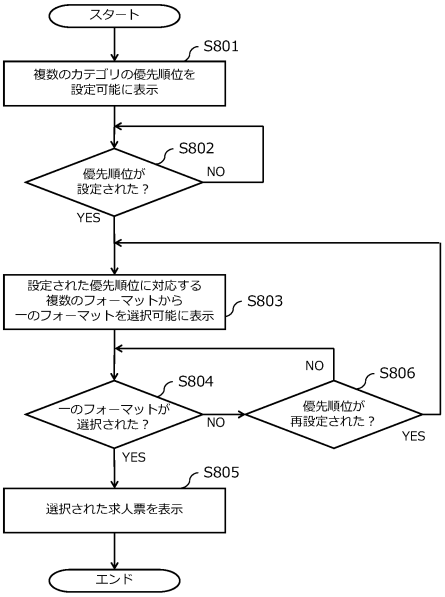
【図６】



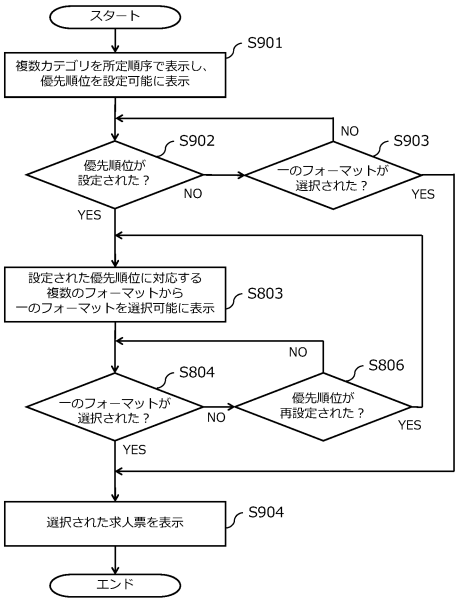
【図７】



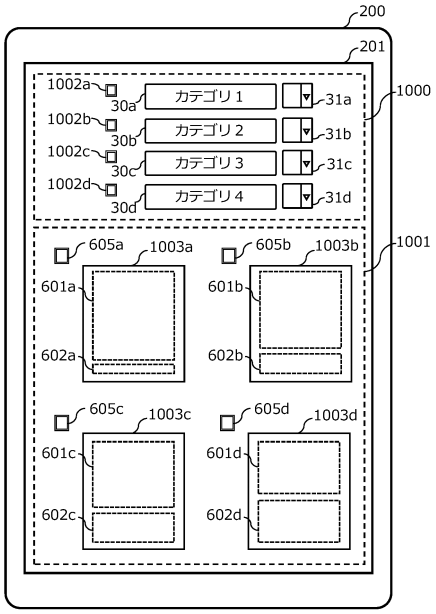
【図８】



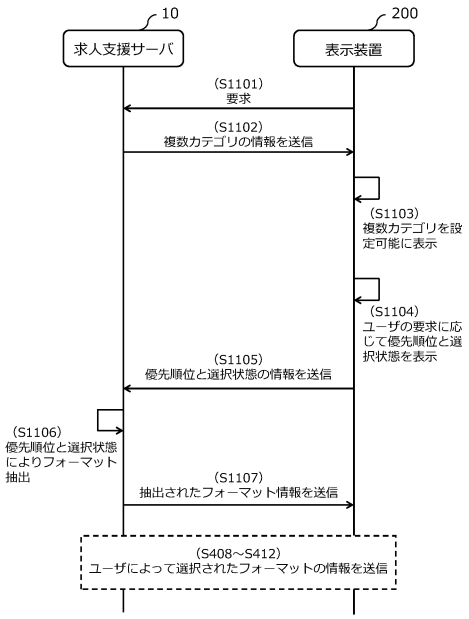
【図９】



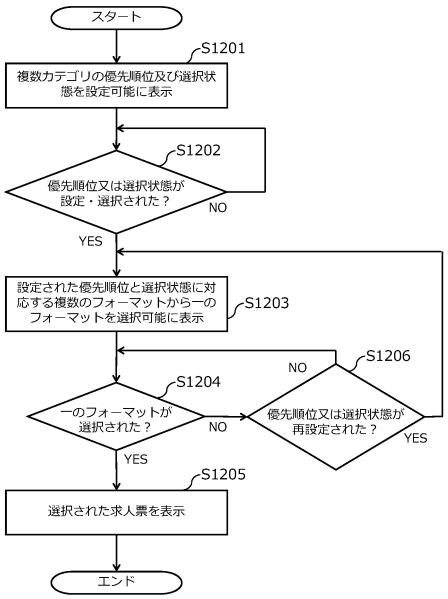
【図１０】



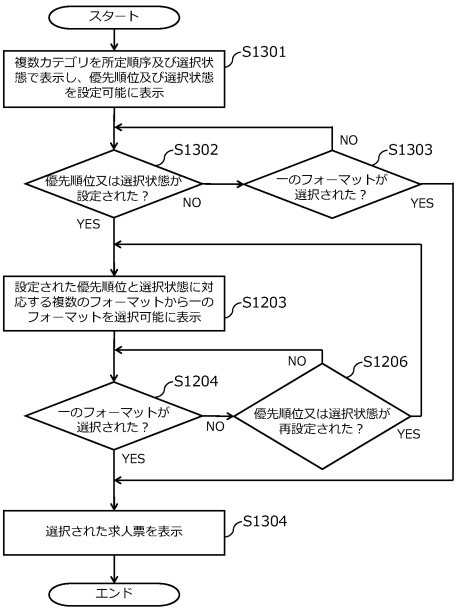
【図１１】



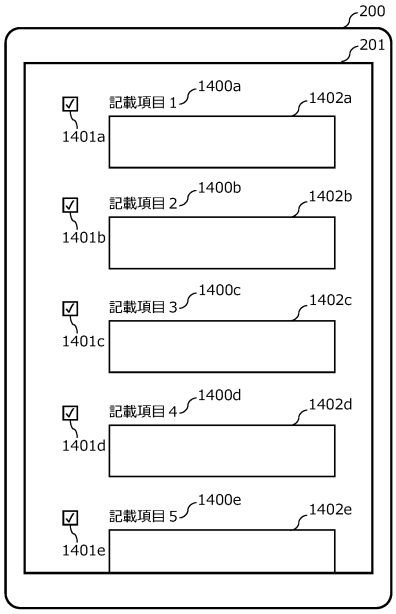
【図１２】



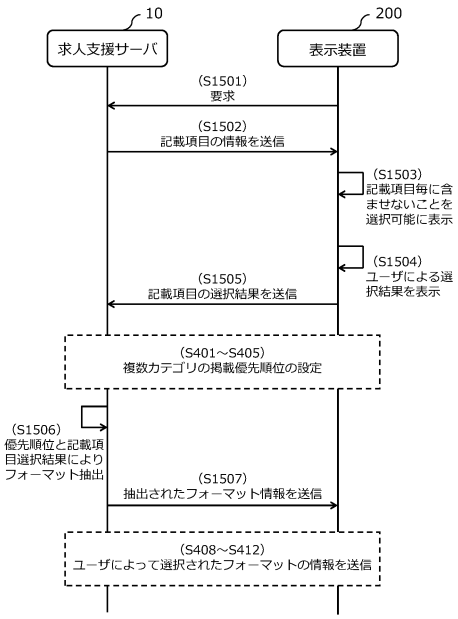
【図１３】



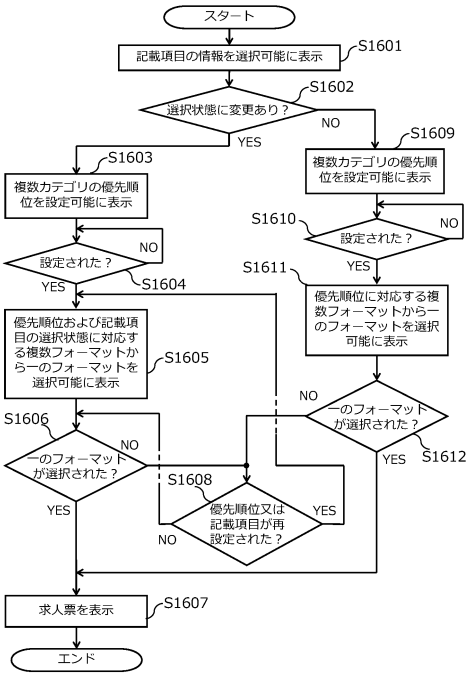
【図１４】



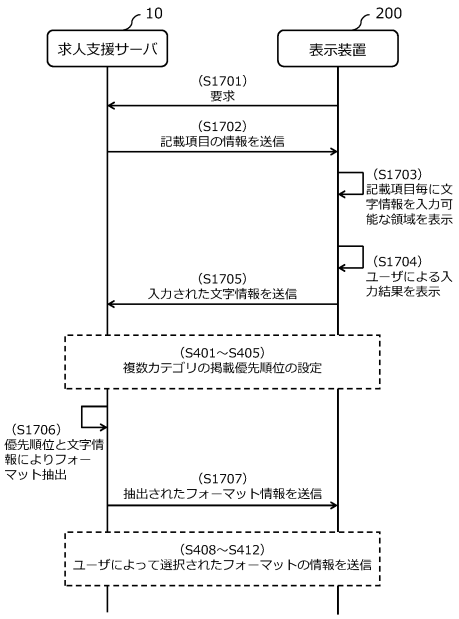
【図１５】



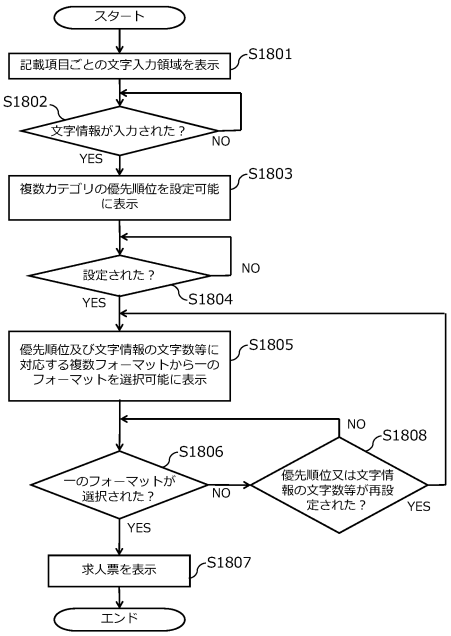
【図１６】



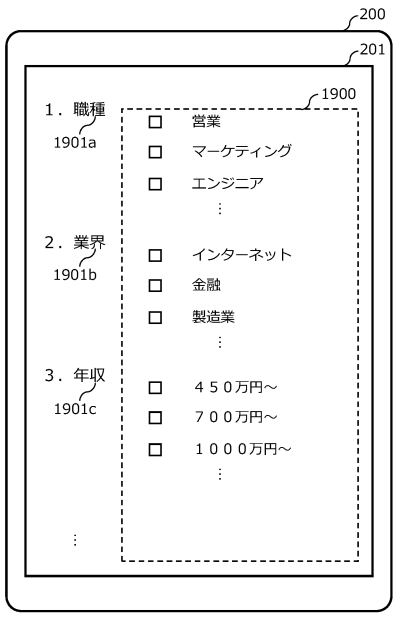
【図１７】



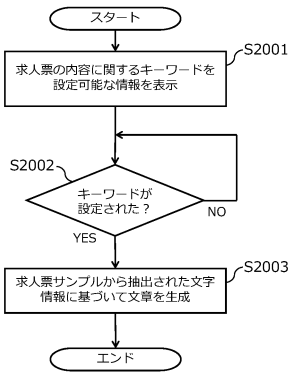
【図１８】



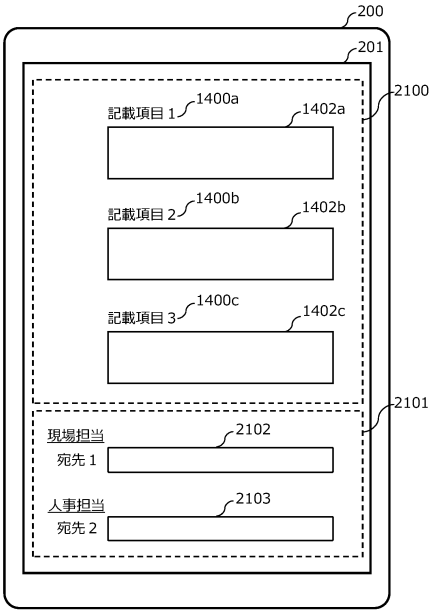
【図１９】



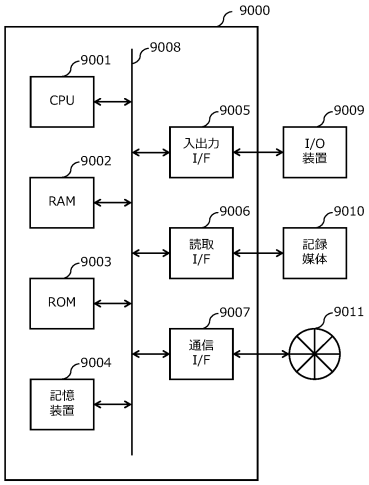
【図２０】



【図２１】


200
201
2100
記載項目１
1400a
1402a
記載項目２
1400b
1402b
記載項目３
1400c
1402c
2101
現場担当
宛先１
2102
人事担当
宛先２
2103

【図２２】


9000
9008
9001
CPU
9002
RAM
9003
ROM
9004
記憶装置
9005
入出力I/F
9006
読取I/F
9007
通信I/F
9009
I/O装置
9010
記録媒体
9011

フロントページの続き

(56)参考文献 特開２００４－１３３６５８（ＪＰ，Ａ）
特開２０１１－１３８２８７（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－２９５２５１（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－３５５５０２（ＪＰ，Ａ）
特開２０１６－１９２２２０（ＪＰ，Ａ）
特開２０１８－０２５９６９（ＪＰ，Ａ）
特開２０１３－１８２３２９（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－１２７１０２（ＪＰ，Ａ）
特開２００５－３１６７８６（ＪＰ，Ａ）
特開２００５－２７５９１７（ＪＰ，Ａ）
特開２００１－２８２９６７（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ １０／００ － ９９／００
Ｇ０６Ｆ １６／００ － １６／９５８
Ｇ０６Ｆ １７／２１
Ｇ０６Ｆ ３／０４８４